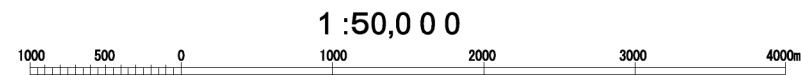


# 位置図

施工範囲  
東京都三鷹市北野三丁目地先

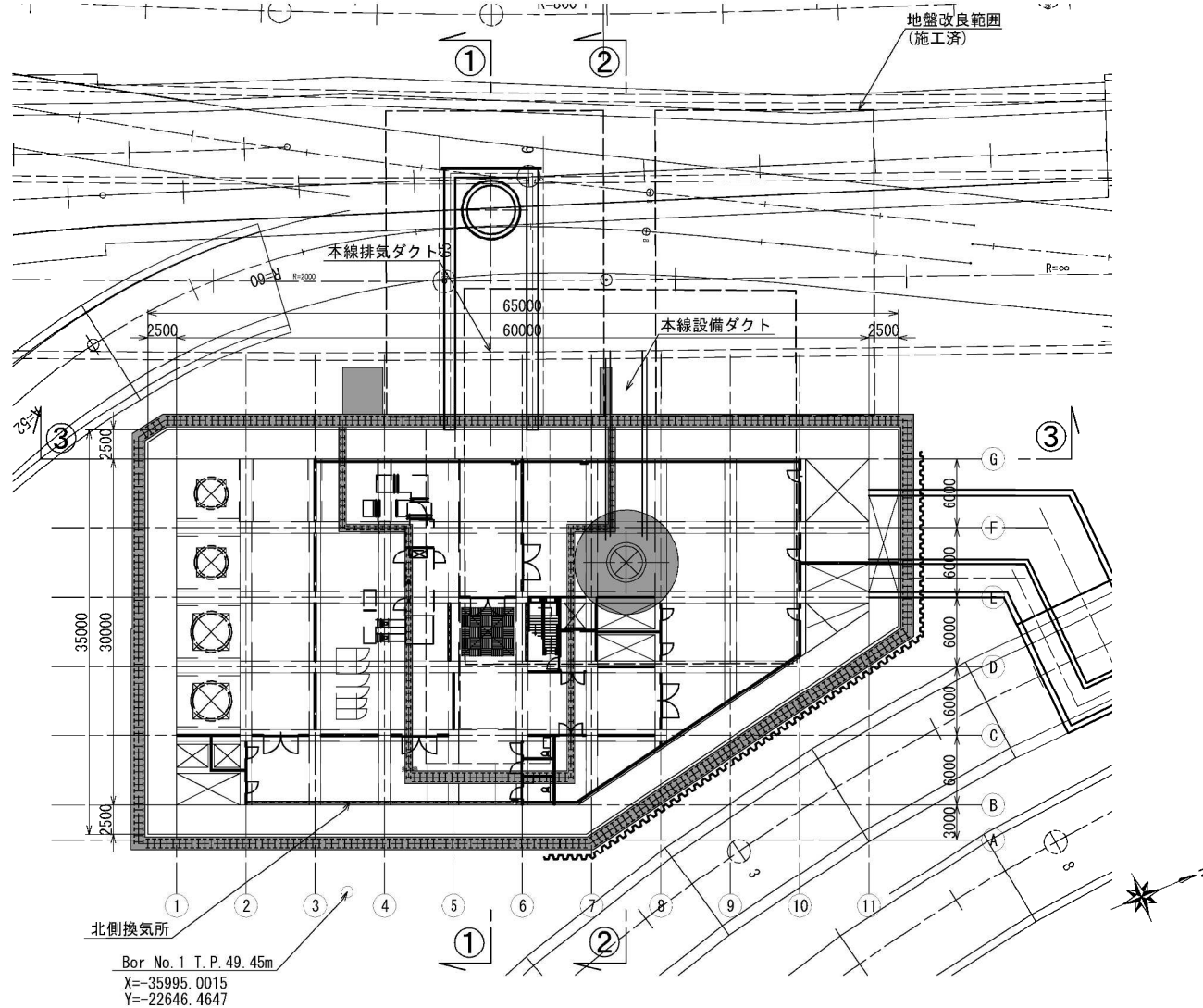
東京外かく環状道路平面図（関越～東名）



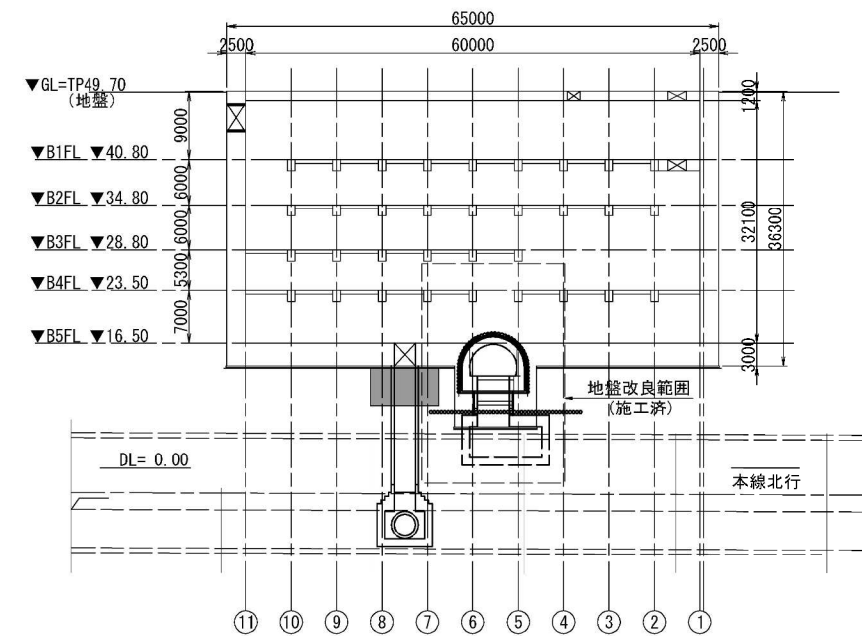
工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事			
図面名	位置図			
縮尺	1:50,000	図面番号	21 の 1	
年月日	令和7年10月 日			
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社			
所長	副所長	課長	係長	設計
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所			

# 全体一般図

平面図 S=1:300



③ - ③ S=1:500

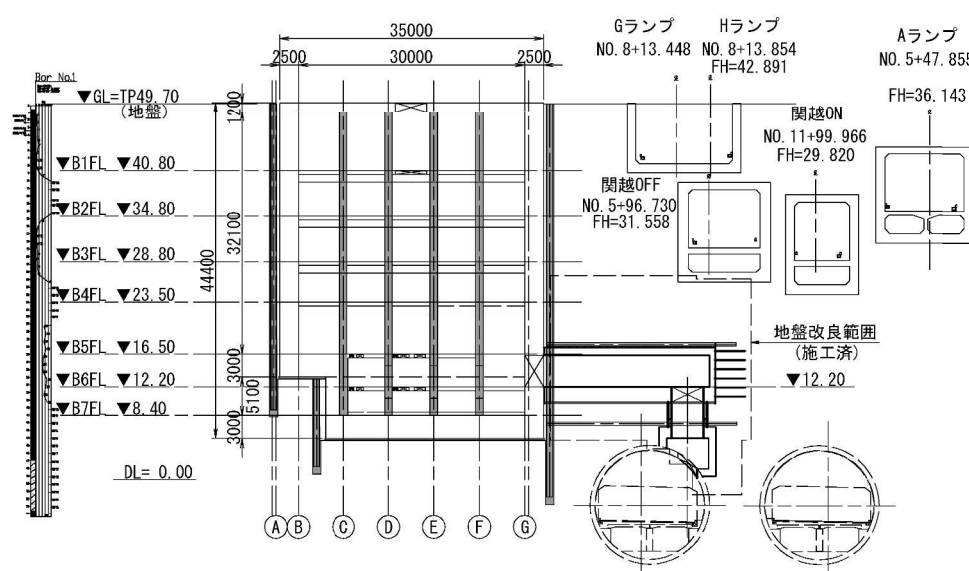


## 凡例

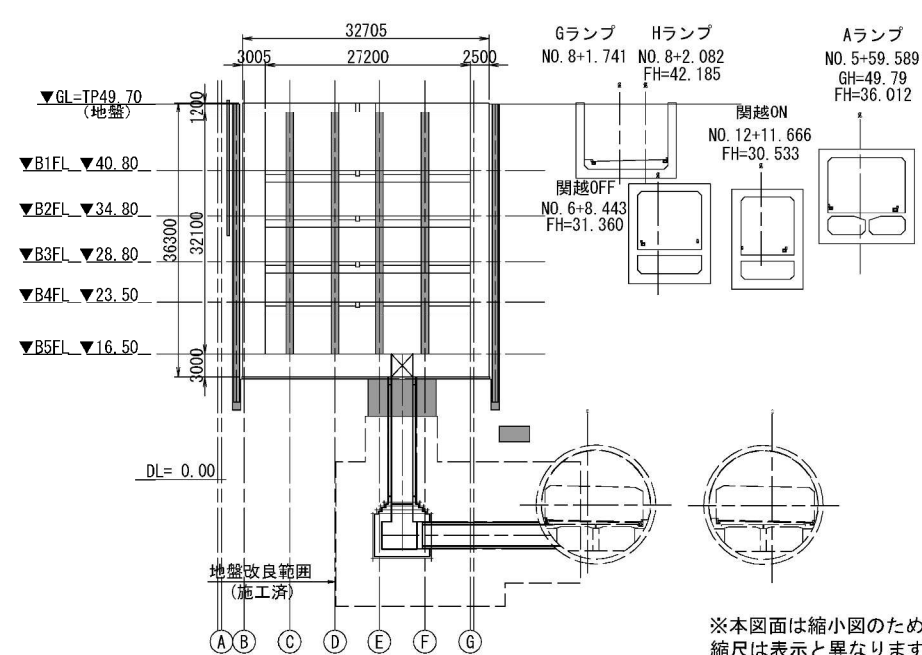
今回施工

※今回施工は地盤改良工、仮設工（地中連続壁工、中間杭工、遮断壁工）とする。

① - ① S=1:500



② - ② S=1:500



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

Bor. No. 1

地層	層厚 (m)	平均 N値	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	内部摩擦角 ( $^\circ$ )	粘着力 $C_0$ (kN/m <sup>2</sup> )	変形係数 $\alpha$ $E_0$ (kN/m <sup>2</sup> )
B	0.750	-	18	40	0	4000
Lm	5.400	4	12	0	66	89500
Lc	2.600	1	12	0	66	89500
Mg	7.200	32	20	40	0	35200
Setc	6.950	3	13	0	112	18800
Setg	5.650	48	19	40	0	879600
Tonc	11.350	25	19	0	325	492000
Tong	7.200	50	21	40	0	499600
Tons	6.800	50	20	40	0	277600
Hic	0.850	28	19	0	364	600000
His	-	50	20	40	0	640000

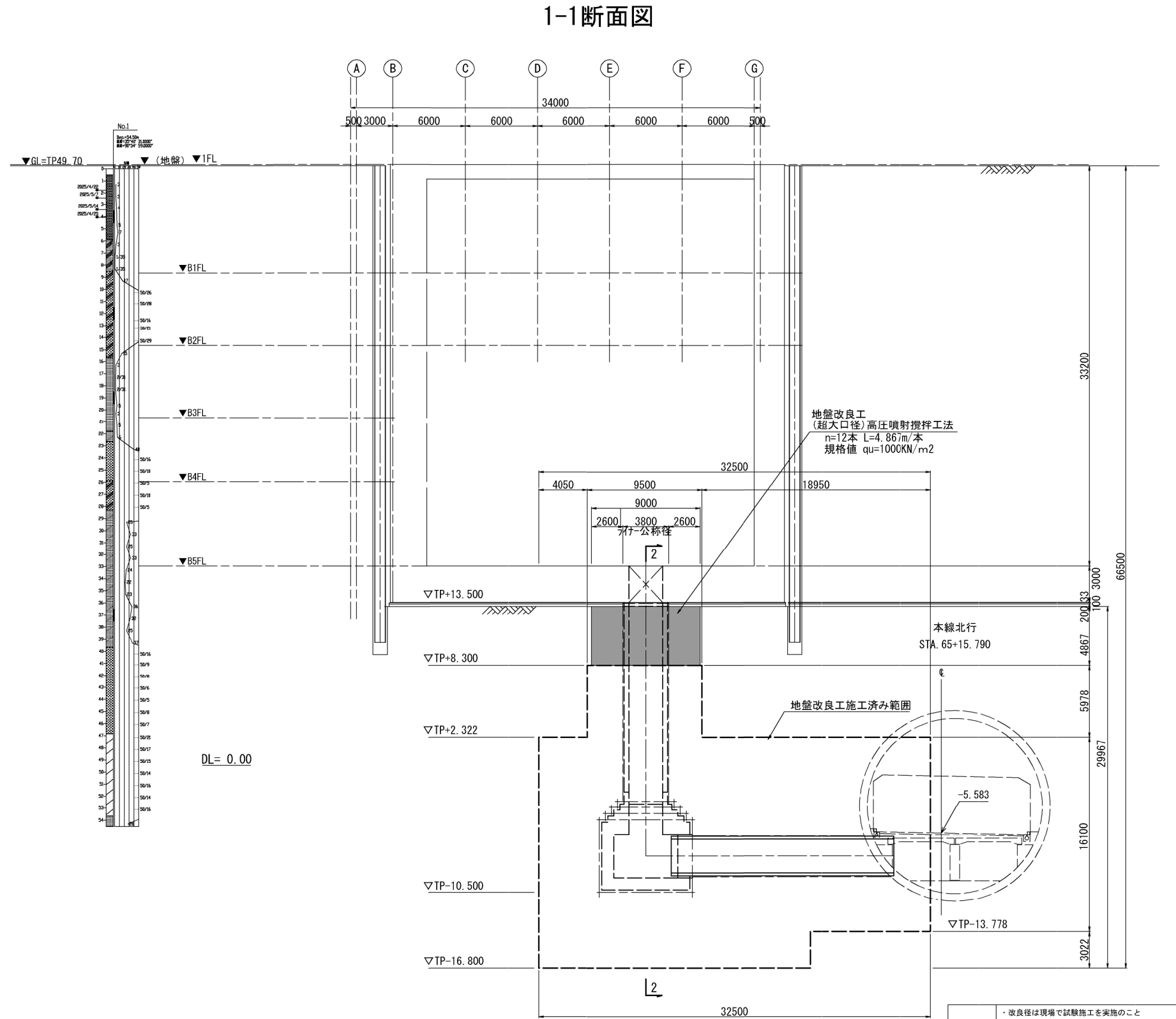
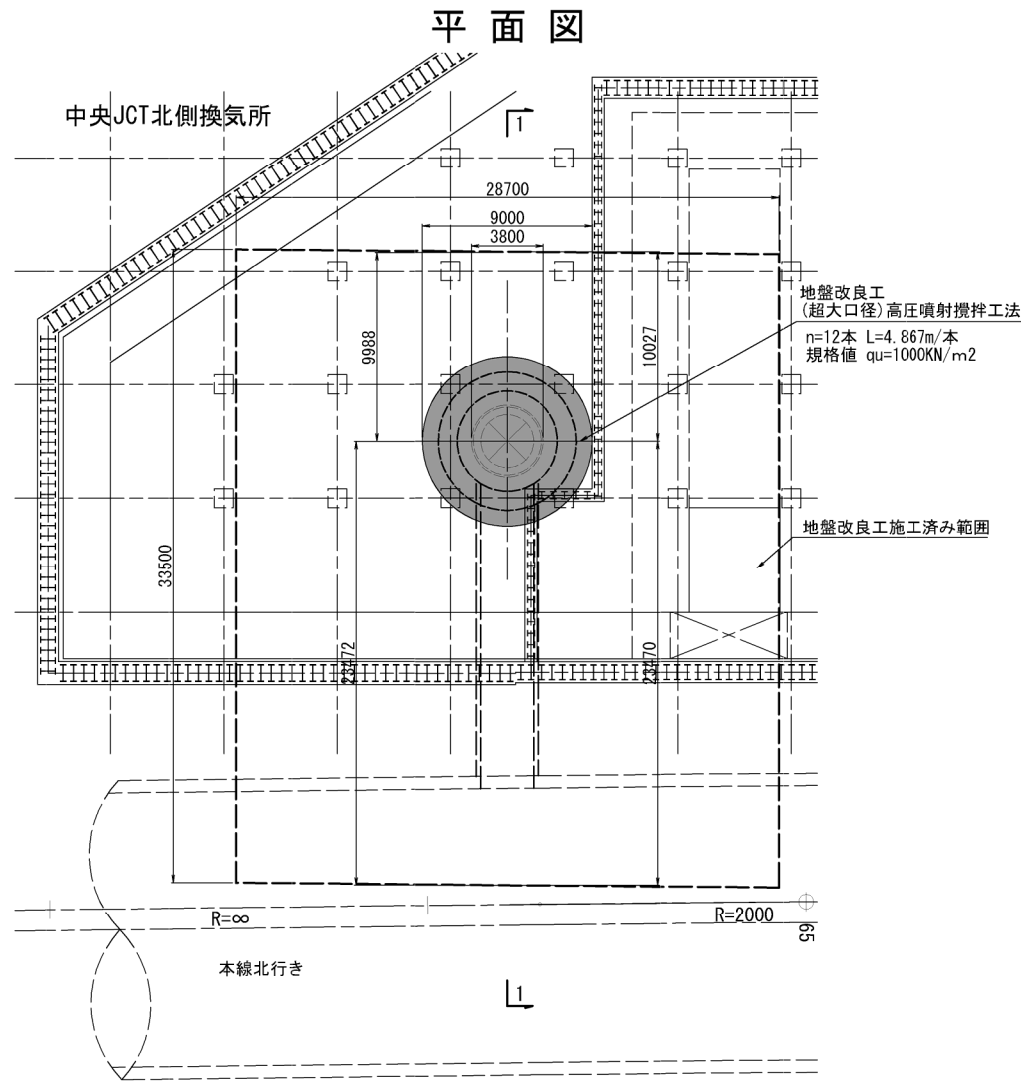
設計水位  $\nabla$ TP+45.80

現場制約事項	・ 浅層地下水位 $\nabla$ TP+45.8m
有	無

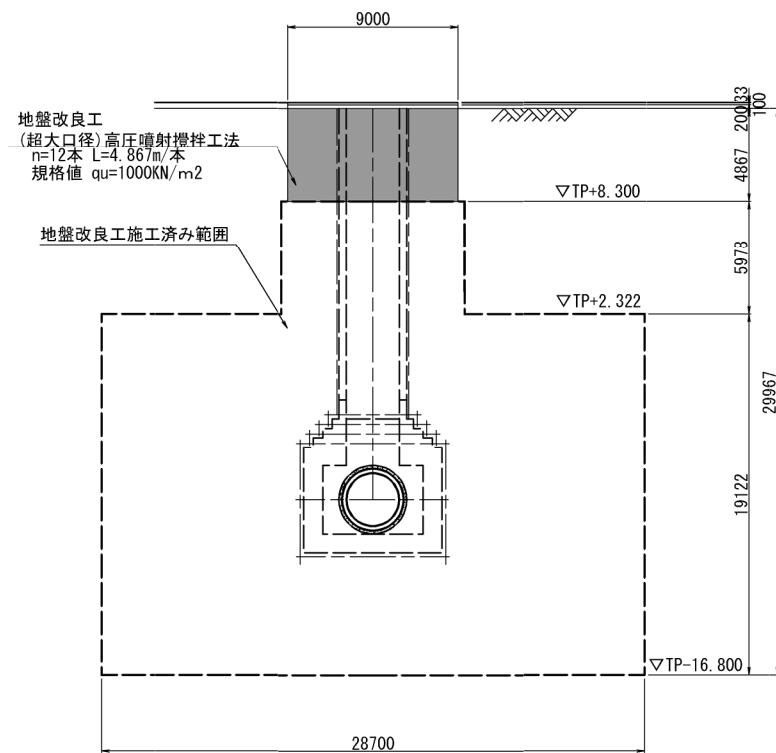
※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理事務所において実地調査等で詳細を確認する。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	全体一般図		
縮尺	図示	図面番号	21の2
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

# 固結工一般図 (1) S=1:200 (超大口径) 高圧噴射攪拌工法



2-2断面図



数量表 63.6m<sup>2</sup>当り

名称	改良長	本数	固化材 使用量	改良強度
高圧噴射攪拌(1)	4.867m	12本	551.3m <sup>3</sup>	$q_u=1000\text{KN/m}^2$

凡例

- 地盤改良工施工範囲
- 地盤改良工施工済み範囲

深度補正

地盤改良の有効径はφ3.5mとする。

※削孔深度40~50mの場合

削孔のズレに相当する0.4mを減ずる。

補正改良径3.5m=設計改良径3.9m-0.4m

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良は現場で試験施工を実施のこと</li> <li>・浅層地下水位 ▼TP+45.8m</li> <li>・地盤改良工施工済み範囲との連続性を確保すること。</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事発注にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で確認する。  
※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	固結工一般図(1)		
縮尺	1:200	図面番号	21の3
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

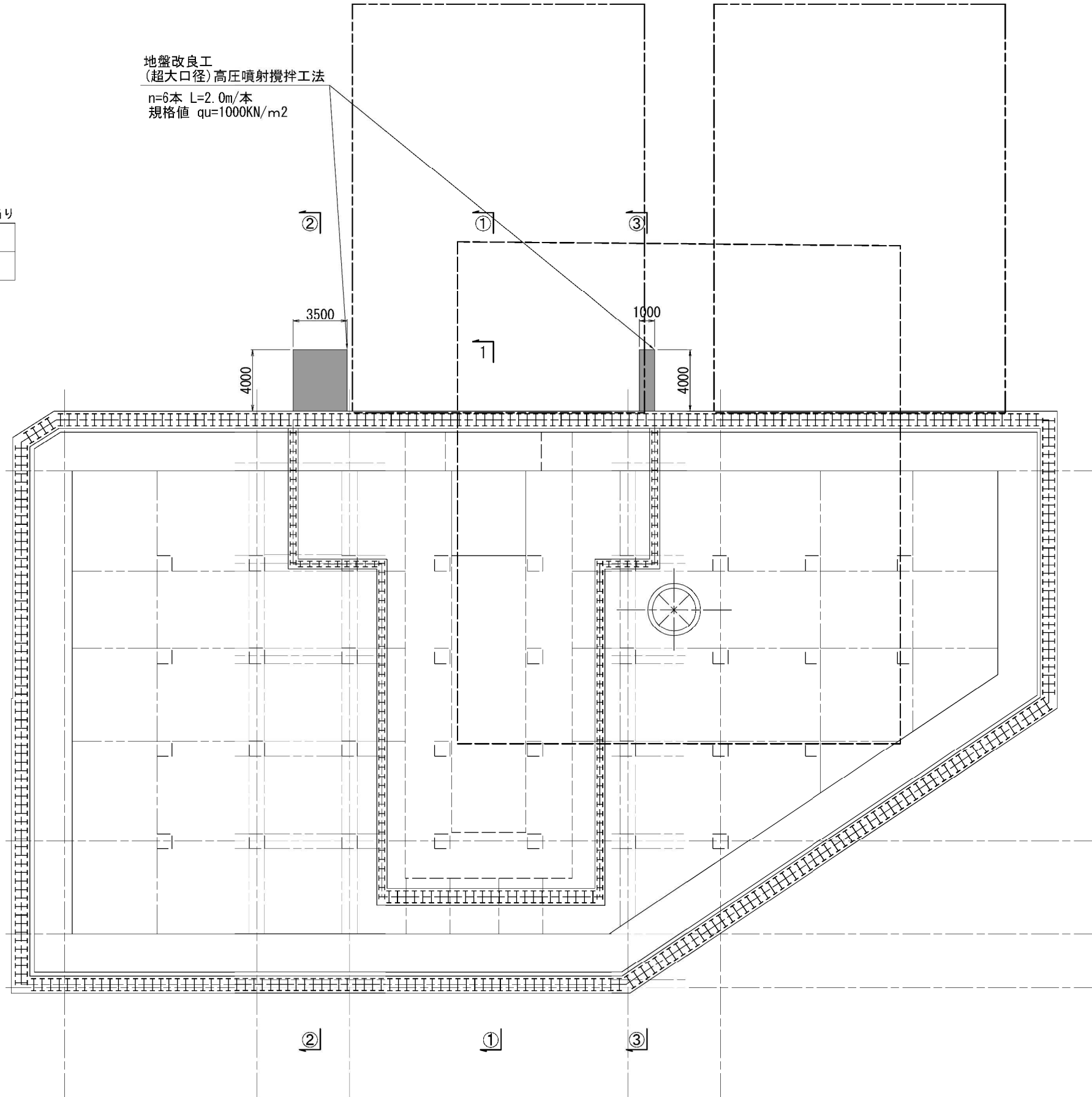
# 固結工一般図 (2) S=1:150

(超大口径) 高压喷射搅拌工法

地盤改良工  
(超大口径) 高压喷射搅拌工法  
n=6本 L=2.0m/本  
規格値  $q_u=1000\text{KN/m}^2$

数量表 18m2当り

名称	改良長	本数	固化材 使用量	改良強度
高压喷射搅拌 (2)	2.000m	6本	115.4m <sup>3</sup>	$q_u=1000\text{KN/m}^2$



凡例

- 地盤改良工施工範囲
- 地盤改良工施工済み範囲(設備ダクト部)
- 地盤改良工施工済み範囲(換気ダクト部)

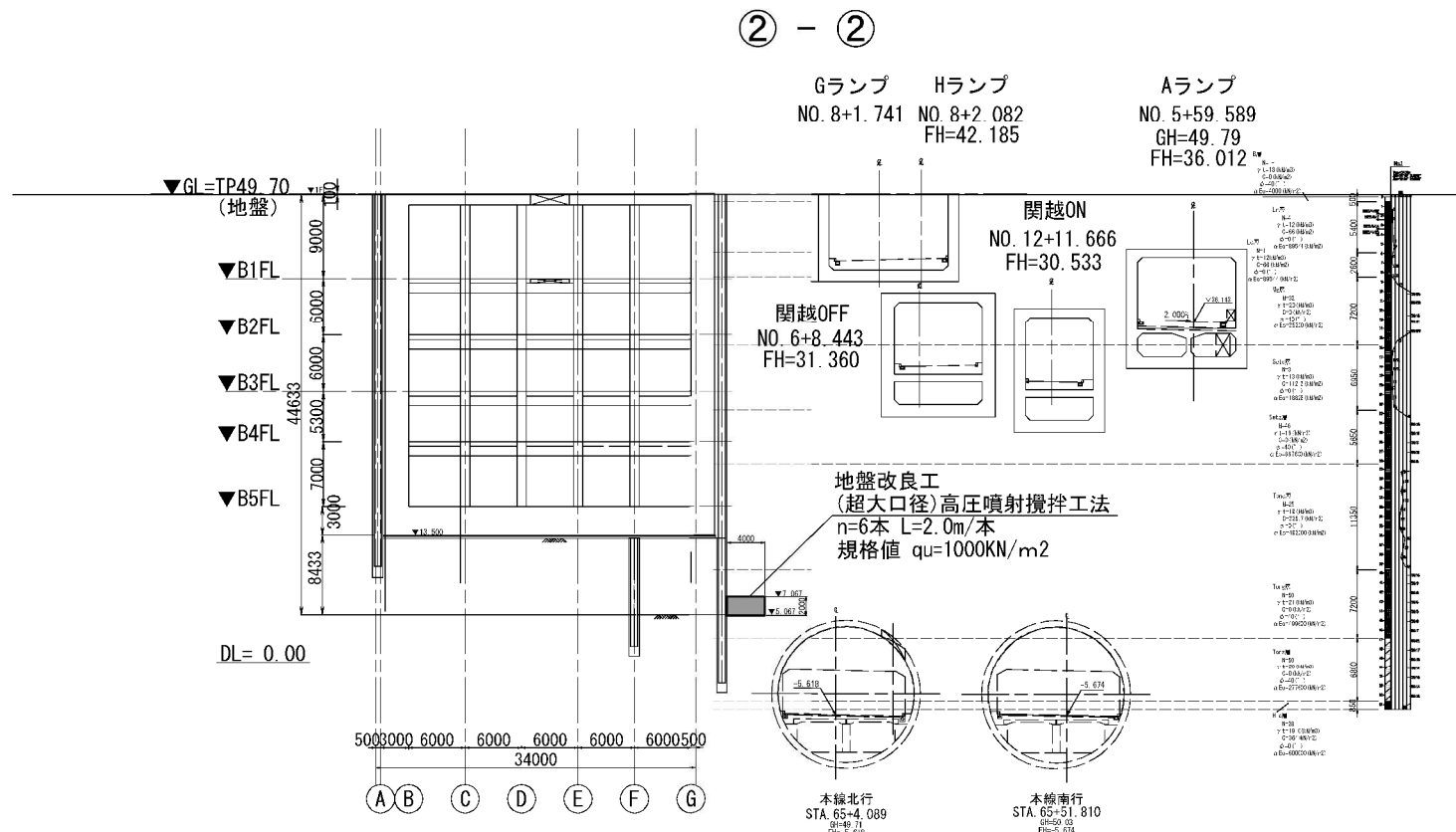
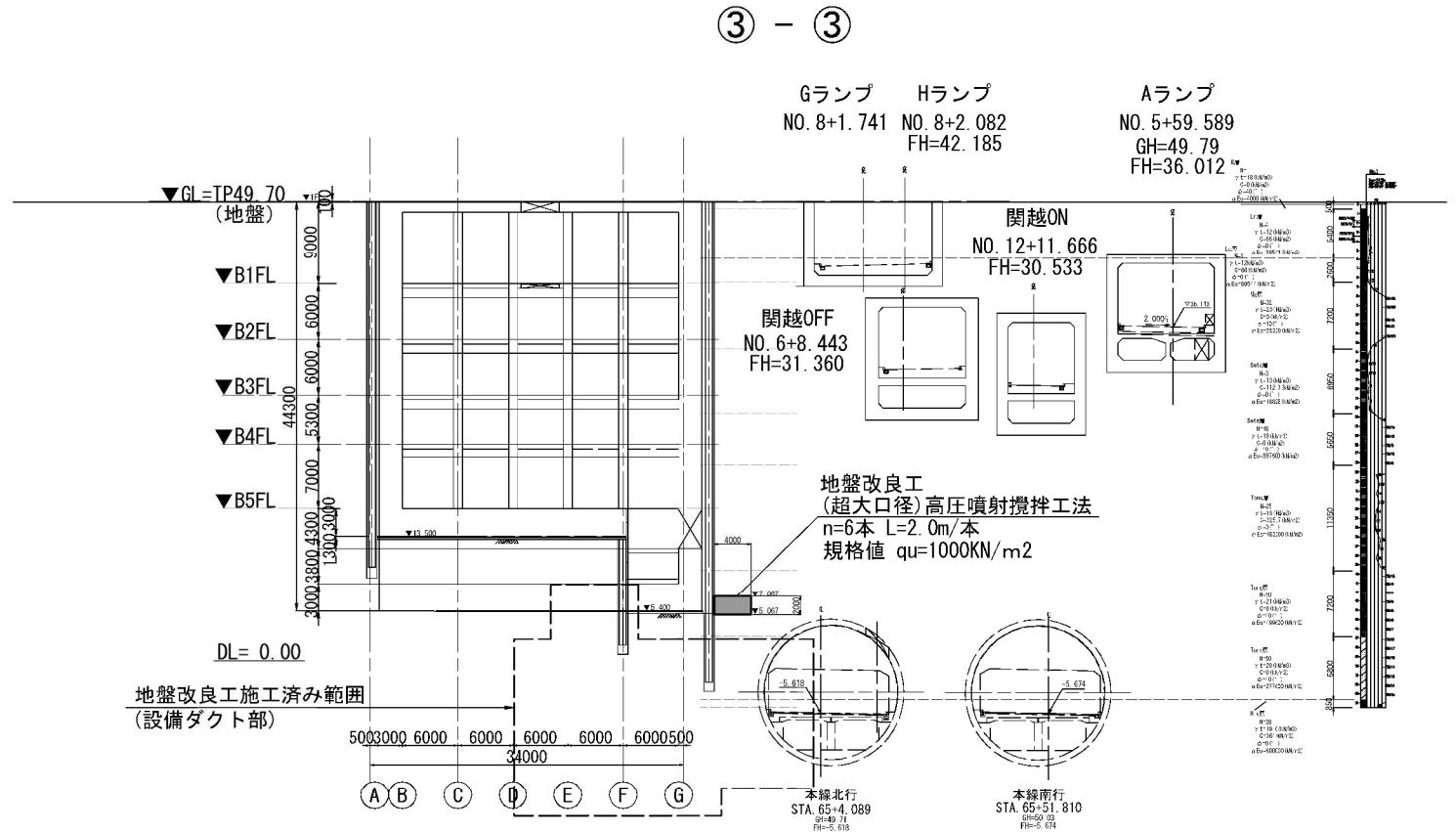
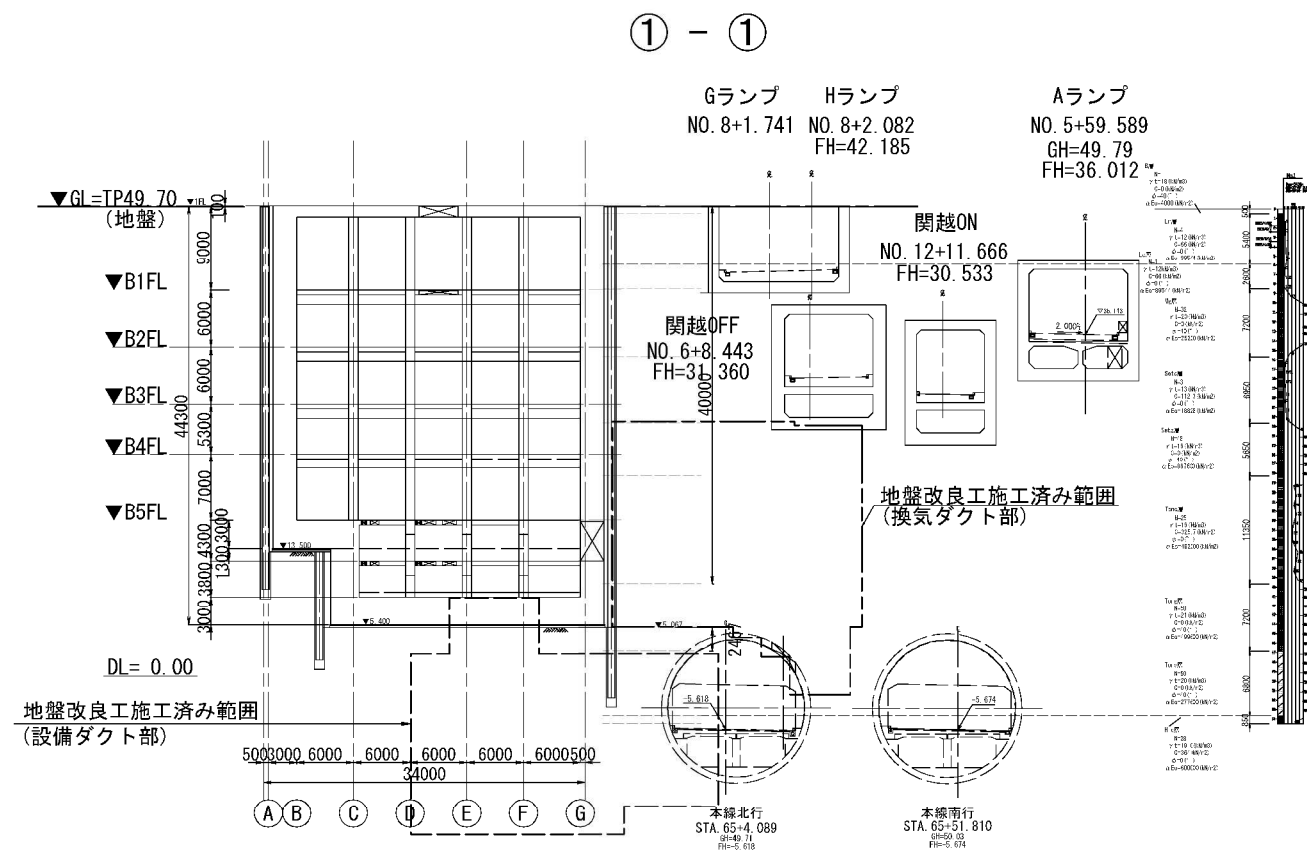
現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良は現場で試験施工を実施すること。</li> <li>・浅層地下水位 <math>\nabla TP+45.8\text{m}</math></li> <li>・地盤改良工施工済み範囲との連続性を確保すること。</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者様で確認される。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	固結工一般図 (2)		
縮尺	1:150	図面番号	21 の 4
年月日	令和 7 年 1 0 月 日		
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 固結工断面図 S=1:400 (超大口径) 高圧噴射攪拌工法



凡例

- 地盤改良工施工範囲
- 地盤改良工施工済み範囲 (設備ダクト部)
- 地盤改良工施工済み範囲 (換気ダクト部)

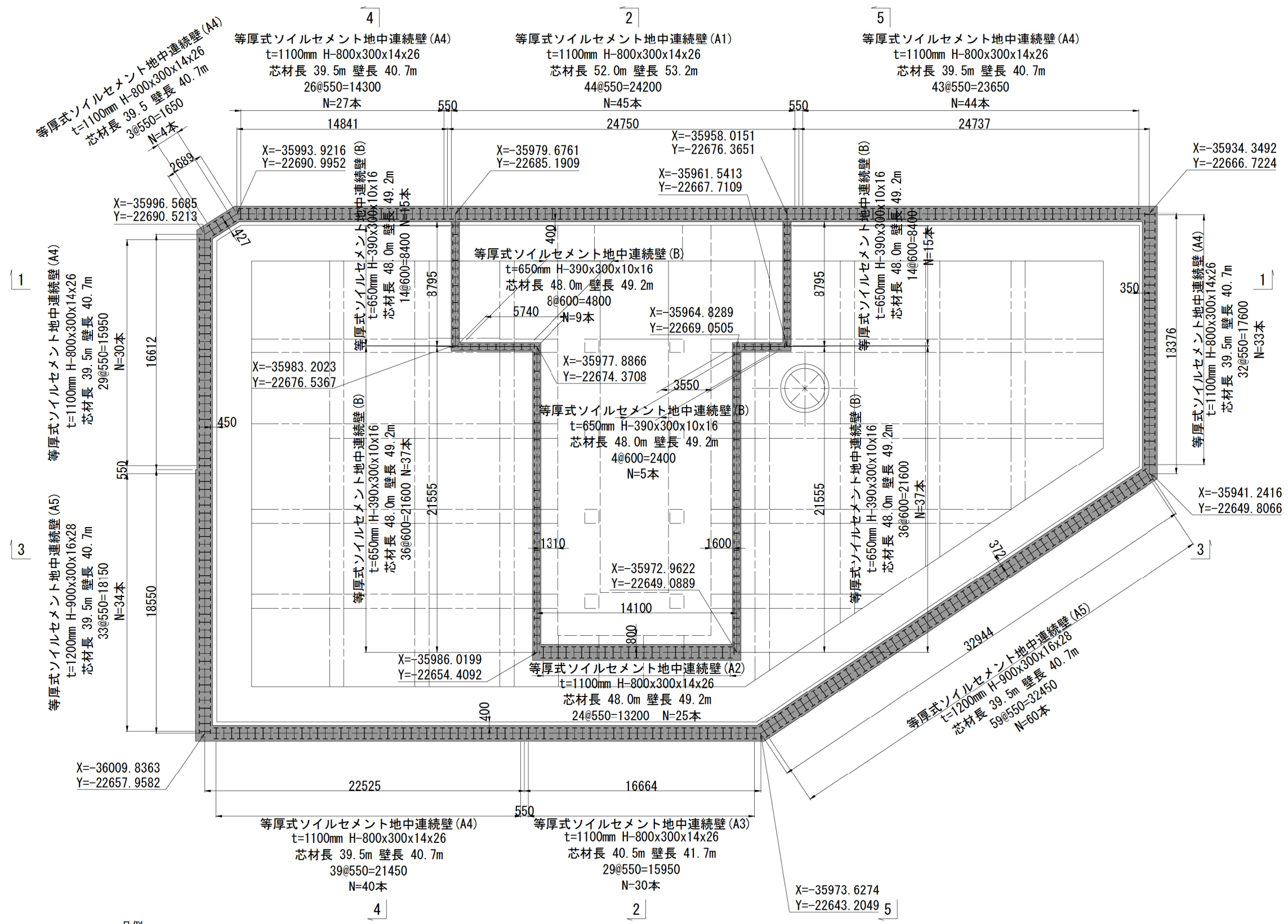
現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良は現場で試験施工を実施すること</li> <li>・浅層地下水位 <math>\nabla</math>TP+45.8m</li> <li>・地盤改良工施工済み範囲との連続性を確保すること</li> </ul>
(有)	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理協議会等において発注者側で詳細に確認する。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	固結工断面図		
縮尺	1:400	図面番号	21の5
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 地中連続壁工平面図S=1:150



種別	鋼材規格	長さ (1本当り切)	鋼材長さ (継手位置)	単位 質量	部材重量 (1本当り)	総重量 (1本当り)	本数	質量計	材質	備考		
											(m)	(m)
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (A1)	H=800× 300 ×14×26 (中継)	52.000	4.500	207	931	10,783	22	20,482	SS400	1本当り 継手4箇所		
			12.000	207	2,484		22	54,848				
			12.000	207	2,484		22	54,848				
			12.000	207	2,484		22	54,848				
			11.500	207	2,380		22	52,960				
		52.000	5.500	207	1,138	23	26,174	10,783	23	57,132	SS400	1本当り 継手4箇所
			12.000	207	2,484	23	57,132					
			12.000	207	2,484	23	57,132					
			10.500	207	2,173	23	49,979					
			4.500	207	931	13	12,103					
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (A2)	H=800× 300 ×14×26 (中継)	48.000	4.500	207	931	9,936	13	32,292	SS400	1本当り 継手4箇所		
			12.000	207	2,484		13	32,292				
			12.000	207	2,484		13	32,292				
			7.500	207	1,552		13	20,176				
			5.500	207	1,138		12	13,658				
		48.000	12.000	207	2,484	12	29,808	9,936	12	29,808	SS400	1本当り 継手4箇所
			12.000	207	2,484	12	29,808					
			12.000	207	2,484	12	29,808					
			6.500	207	1,345	12	16,140					
			4.500	207	931	16	13,965					
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (A3)	H=800× 300 ×14×26 (中継)	40.500	4.500	207	931	8,383	15	37,260	SS400	1本当り 継手3箇所		
			12.000	207	2,484		15	37,260				
			12.000	207	2,484		15	37,260				
			5.500	207	1,138		15	17,075				
			12.000	207	2,484		15	37,260				
		40.500	12.000	207	2,484	15	37,260	8,383	15	37,260	SS400	1本当り 継手3箇所
			11.000	207	2,277	16	34,165					
			4.500	207	931	89	82,859					
			12.000	207	2,484	89	221,076					
			12.000	207	2,484	89	221,076					
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (A4)	H=800× 300 ×14×26 (中継)	39.500	4.500	207	931	8,176	89	82,859	SS400	1本当り 継手3箇所		
			12.000	207	2,484		89	221,076				
			12.000	207	2,484		89	221,076				
			5.500	207	1,138		89	101,282				
			12.000	207	2,484		89	221,076				
		39.500	12.000	207	2,484	89	221,076	8,176	89	221,076	SS400	1本当り 継手3箇所
			10.000	207	2,070	89	184,233					
			4.500	240	1,080	47	50,760					
			12.000	240	2,880	47	135,360					
			12.000	240	2,880	47	135,360					
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (A5)	H=900× 300 ×16×28 (中継)	39.500	4.500	240	1,080	9,480	47	135,360	SS400	1本当り 継手3箇所		
			12.000	240	2,880		47	135,360				
			12.000	240	2,880		47	135,360				
			5.500	240	1,320		47	62,040				
			12.000	240	2,880		47	135,360				
		39.500	12.000	240	2,880	47	135,360	9,480	47	135,360	SS400	1本当り 継手3箇所
			10.000	240	2,400	47	112,800					
			4.500	105	472	82	29,264					
			12.000	105	1,260	82	78,120					
			12.000	105	1,260	82	78,120					
等厚式ソイルセメント 地中連続壁 (B)	H=390× 300 ×10×16 (中継)	48.000	4.500	105	472	5,039	82	78,120	SS400	1本当り 継手4箇所		
			12.000	105	1,260		82	78,120				
			12.000	105	1,260		82	78,120				
			7.500	105	787		82	48,794				
			5.500	105	472		56	32,312				
		48.000	12.000	105	1,260	56	70,560	5,039	56	70,560	SS400	1本当り 継手4箇所
			12.000	105	1,260	56	70,560					
			12.000	105	1,260	56	70,560					
			6.500	105	482	56	38,192					
			4.500	105	482	56	38,192					

凡例  
 地中連続壁工施工範囲

項目	名称	延長 (m)	芯材本数 (本)	継手数 (箇所)	掘削固化液使用量 (t)	摘要	単位質量 (kg/m)
地中連続壁工	A1	24.8	45	180	2297.0	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=1100mm、H=800x300x14x26 L=52.0m	207
	A2	14.1	25	100	1237.2	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=1100mm、H=800x300x14x26 L=48.0m	
	A3	16.7	30	90	1193.5	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=1100mm、H=800x300x14x26 L=40.5m	
	A4	99.8	178	534	6703.7	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=1100mm、H=800x300x14x26 L=39.5m	
	A5	51.5	94	282	3815.5	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=1200mm、H=900x300x16x28 L=39.5m	
	B	70.0	118	472	4066.4	等厚式ソイルセメント地中連続壁 t=650mm、H=390x300x10x16 L=48.0m	
合計		276.8	490	1658	19313.3		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

現場制約事項  
 ・浅層地下水位▽TP-45.8m  
 ・土留め背面荷重：10kN/m<sup>2</sup>  
 ・芯材鉛直荷重 短手：360kN/本 長手：260kN/本

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で最終的に確認する。  
 ※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	地中連続壁工平面図		
縮尺	1:150	図面番号	21の6
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

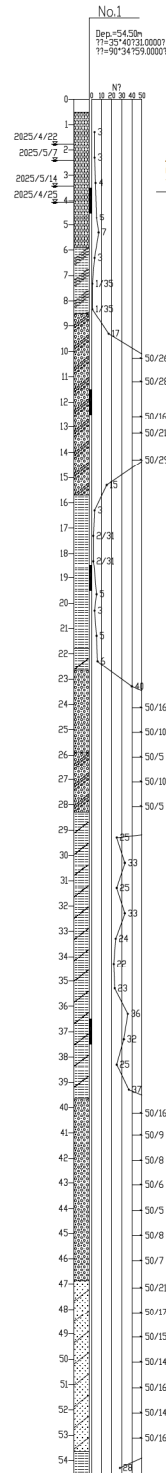




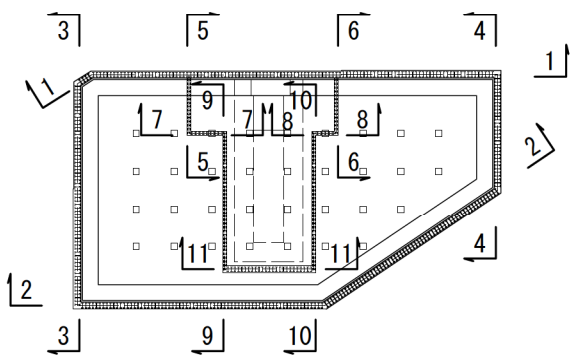
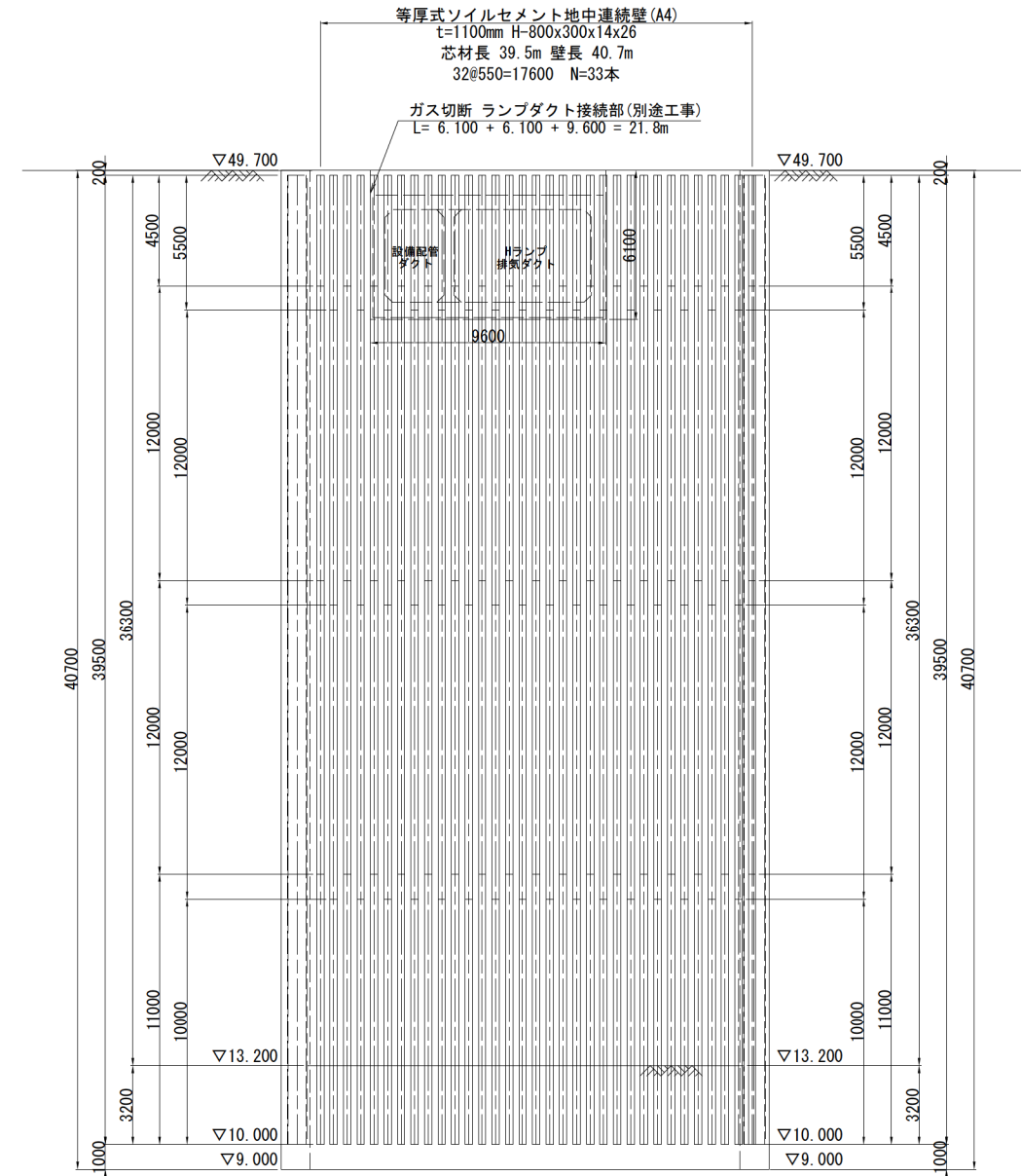
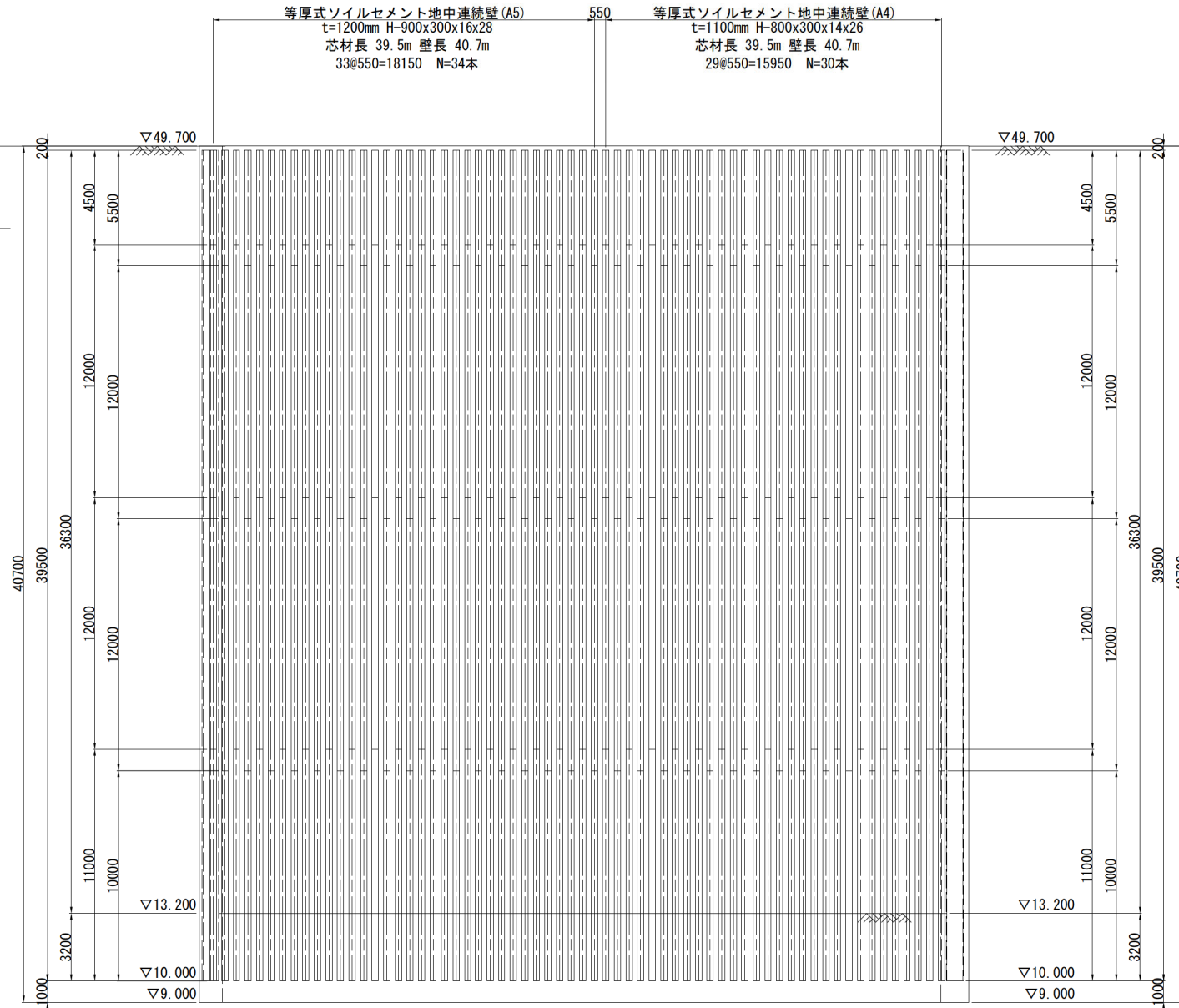
# 地中連続壁工展開図 (3) S=1:150

3-3

4-4



位置図



現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅層地下水位 TP+45.8m</li> <li>・土留め背面荷重: 10kN/m<sup>2</sup></li> <li>・芯材鉛直荷重 短手: 360kN/本 長手: 260kN/本</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において実地調査で照会し確認する。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	地中連続壁工展開図 (3)		
縮尺	1:150	図面番号	21 の 9
年月日	令和 7 年 1 0 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 地中連続壁工展開図 (4) S=1:150

5-5, 6-6

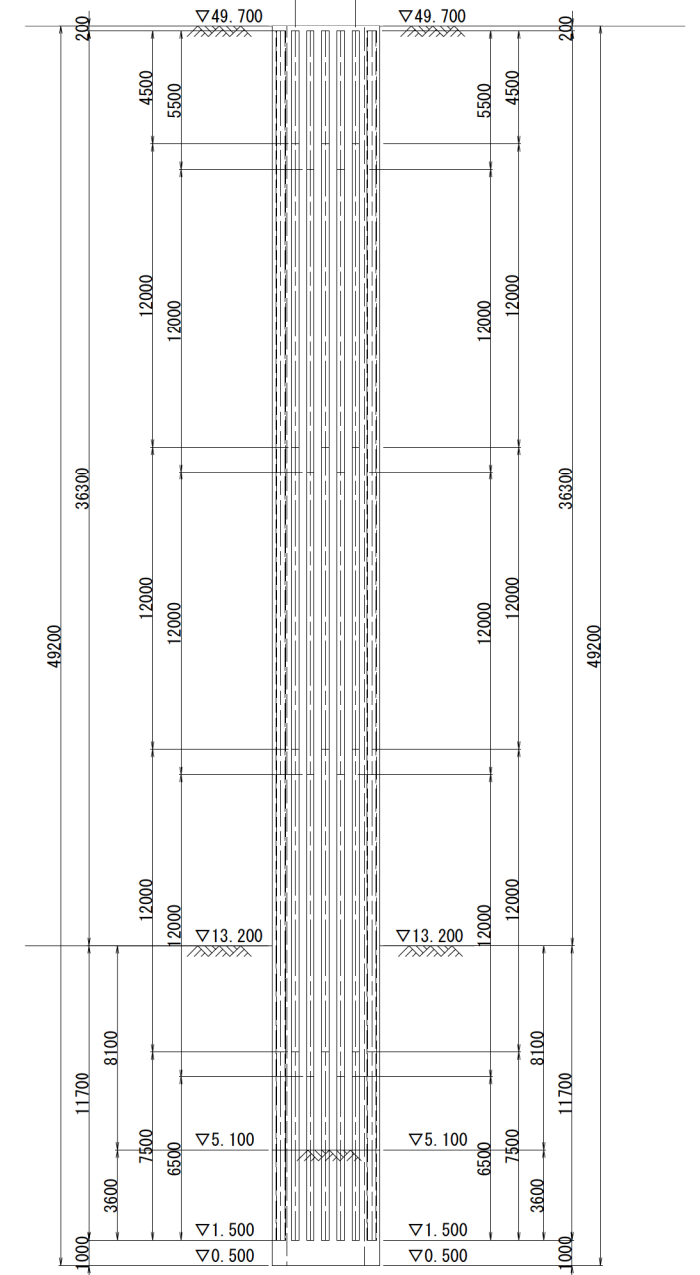
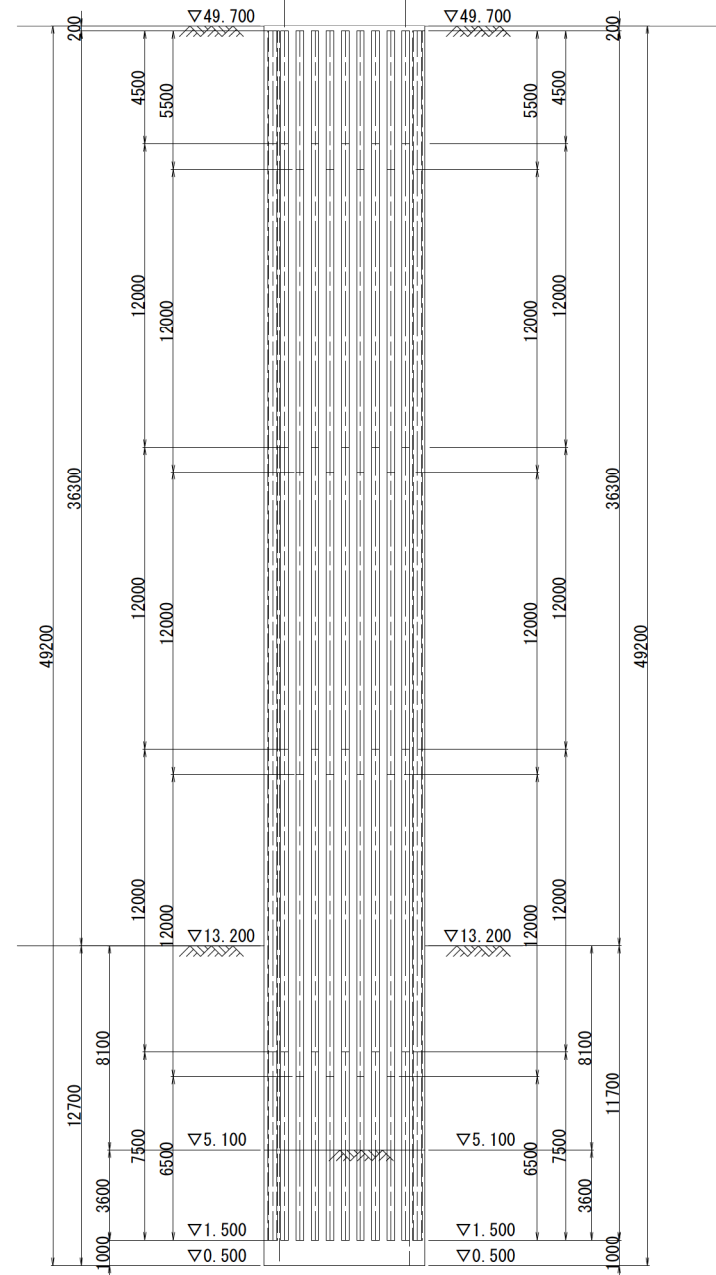
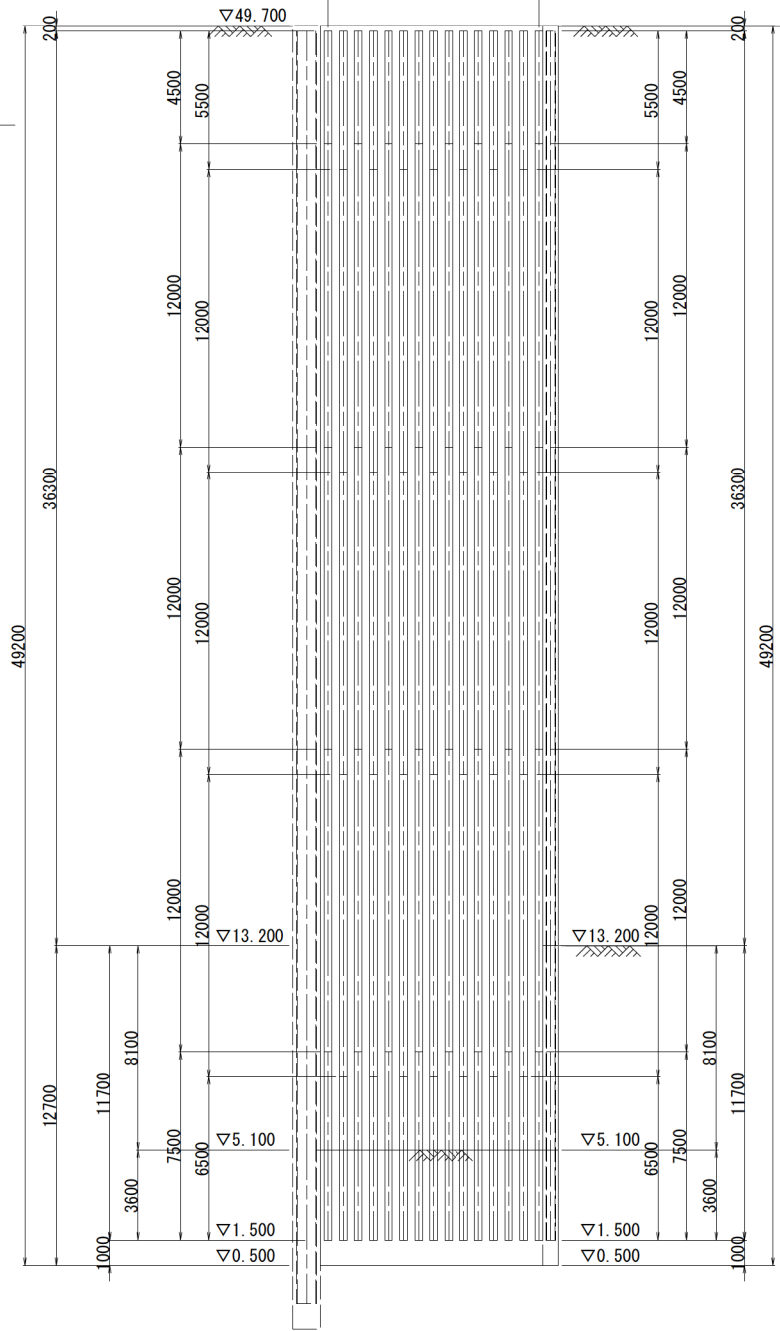
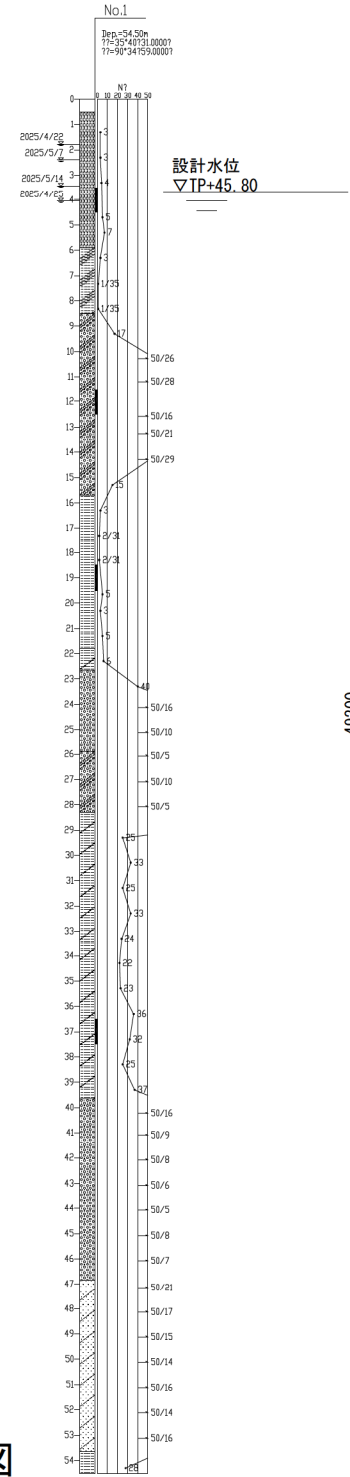
7-7

8-8

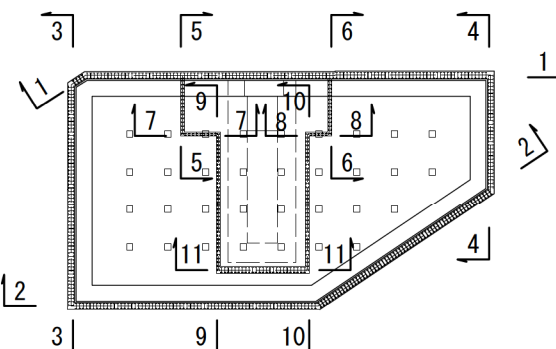
等厚式ソイルセメント地中連続壁(B)  
t=650mm H=390x300x10x16  
芯材長 48.0m 壁長 49.2m  
14@600=8400 N=15本

等厚式ソイルセメント地中連続壁(B)  
t=650mm H=390x300x10x16  
芯材長 48.0m 壁長 49.2m  
8@600=4800 N=9本

等厚式ソイルセメント地中連続壁(B)  
t=650mm H=390x300x10x16  
芯材長 48.0m 壁長 49.2m  
4@600=2400 N=5本



位置図



現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>浅層地下水位 <math>\nabla</math>TP+45.8m</li> <li>土留め背面荷重: 10kN/m<sup>2</sup></li> <li>芯材鉛直荷重 短手: 360kN/本 長手: 260kN/本</li> </ul>
--------	---

有 無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で照会し確認する。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	地中連続壁工展開図(4)		
縮尺	1:150	図面番号	21の10
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

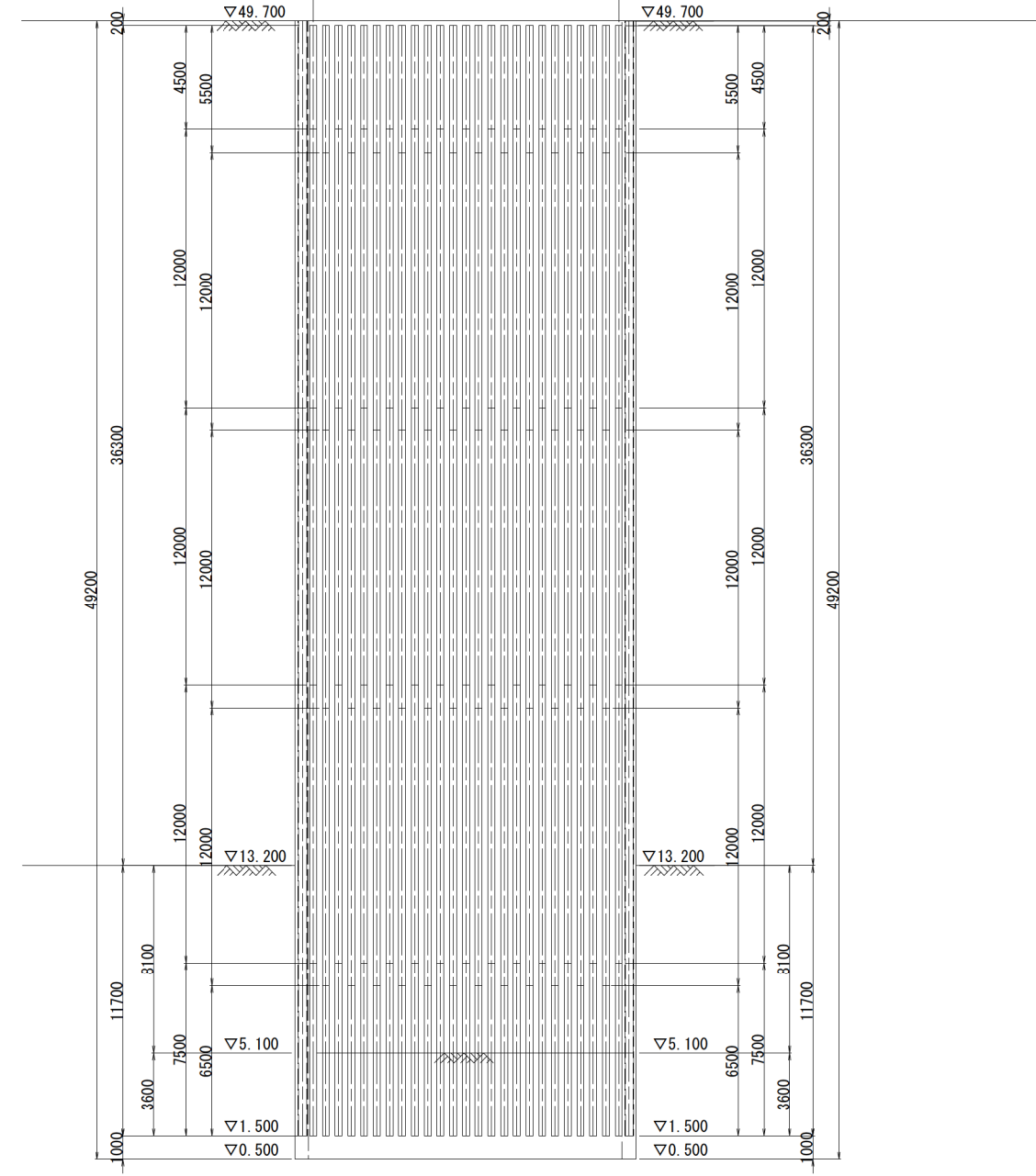
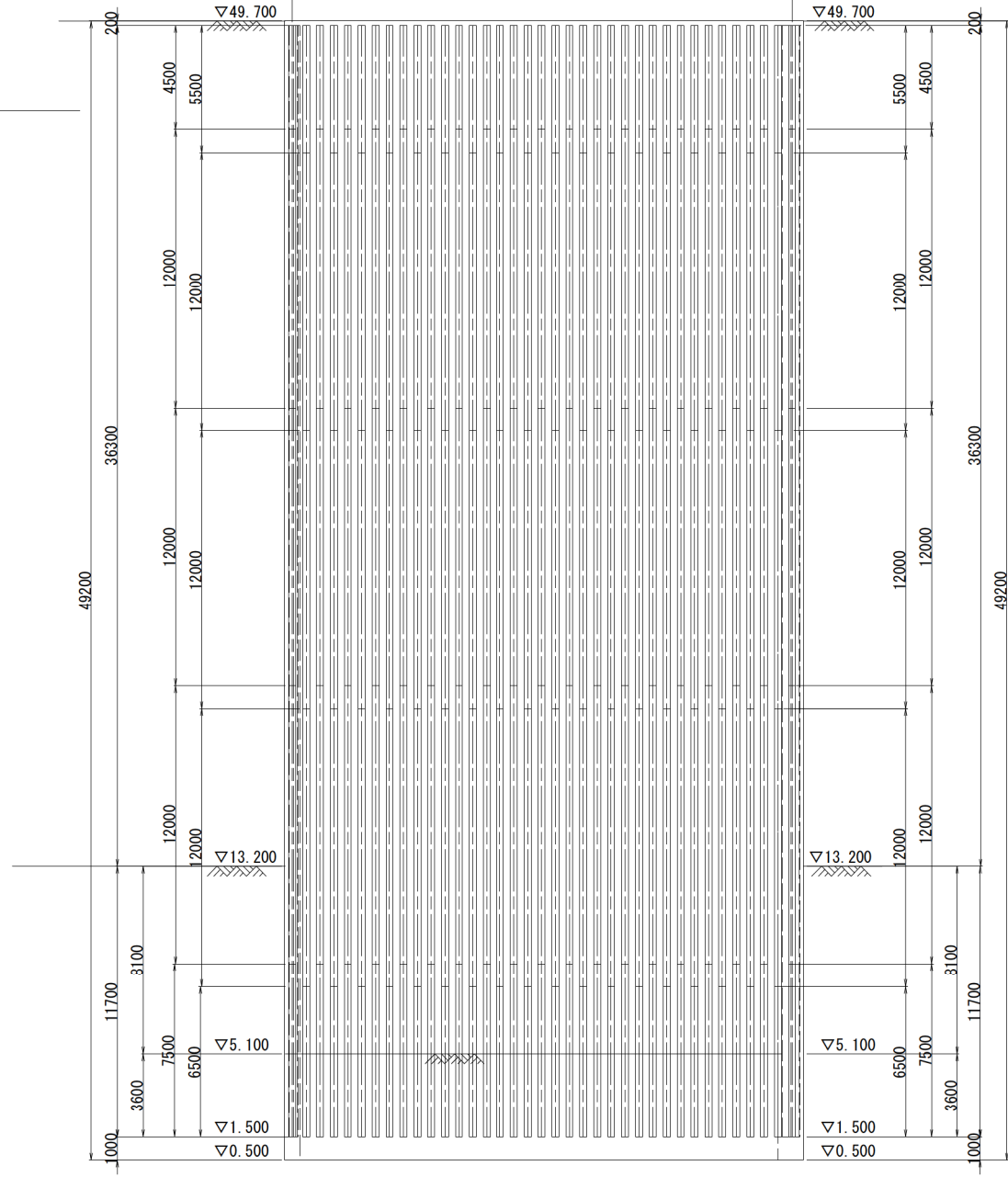
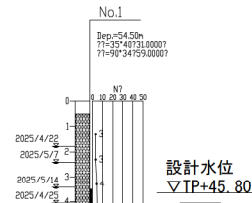
# 地中連続壁工展開図 (5) S=1:150

9-9, 10-10

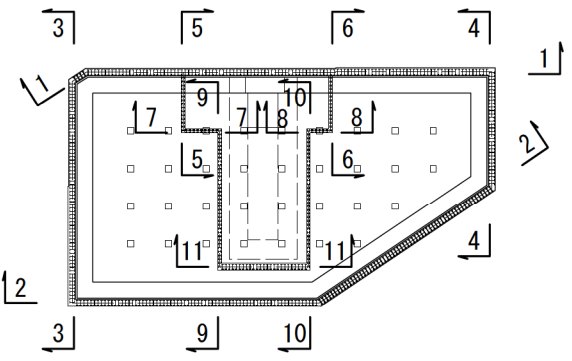
11-11

等厚式ソイルセメント地中連続壁 (B)  
 t=650mm H=390x300x10x16  
 芯材長 48.0m 壁長 49.2m  
 36@600=21600 N=37本

等厚式ソイルセメント地中連続壁 (A2)  
 t=1100mm H=800x300x14x26  
 芯材長 48.0m 壁長 49.2m  
 24@550=13200 N=25本



位置図



現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅層地下水位 <math>\nabla</math>TP+45.8m</li> <li>・土留め背面荷重: 10kN/m<sup>2</sup></li> <li>・芯材鉛直荷重 短手: 360kN/本 長手: 260kN/本</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で厳格に確認する。  
 ※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	地中連続壁工展開図 (5)		
縮尺	1:150	図面番号	21 の 11
年月日	令和 7 年 1 0 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

凡例

記号	覆工荷重	杭天端
(1) ①	あり	TP+48.206m
(2) ②	あり	TP+48.206m

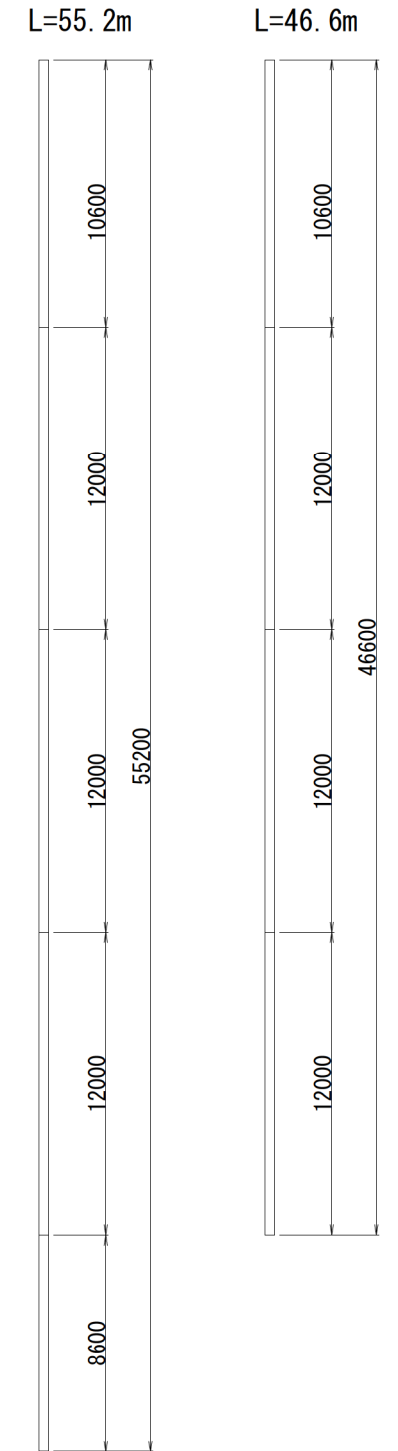
中間杭工平面図 S=1:150

細別	鋼材規格	長さ	鋼材長さ	単位質量	部材重量	総重量	員数	質量計	材質	備考
		(1本当り)	(継手位置)	(kg/m)	(kg)	(kg)				
中間杭(1)	H-400×400×13×21(広幅)	46.600	12.000	172	2,064	8,015	68	140,352	SS400	1本当り継手3箇所
			12.000	172	2,064					
			12.000	172	2,064					
			10.600	172	1,823					
中間杭(2)	H-400×400×13×21(広幅)	55.200	8.600	172	1,479	9,484	25	36,975	SS400	1本当り継手4箇所
			12.000	172	2,064					
			12.000	172	2,064					
			10.600	172	1,823					

数量表

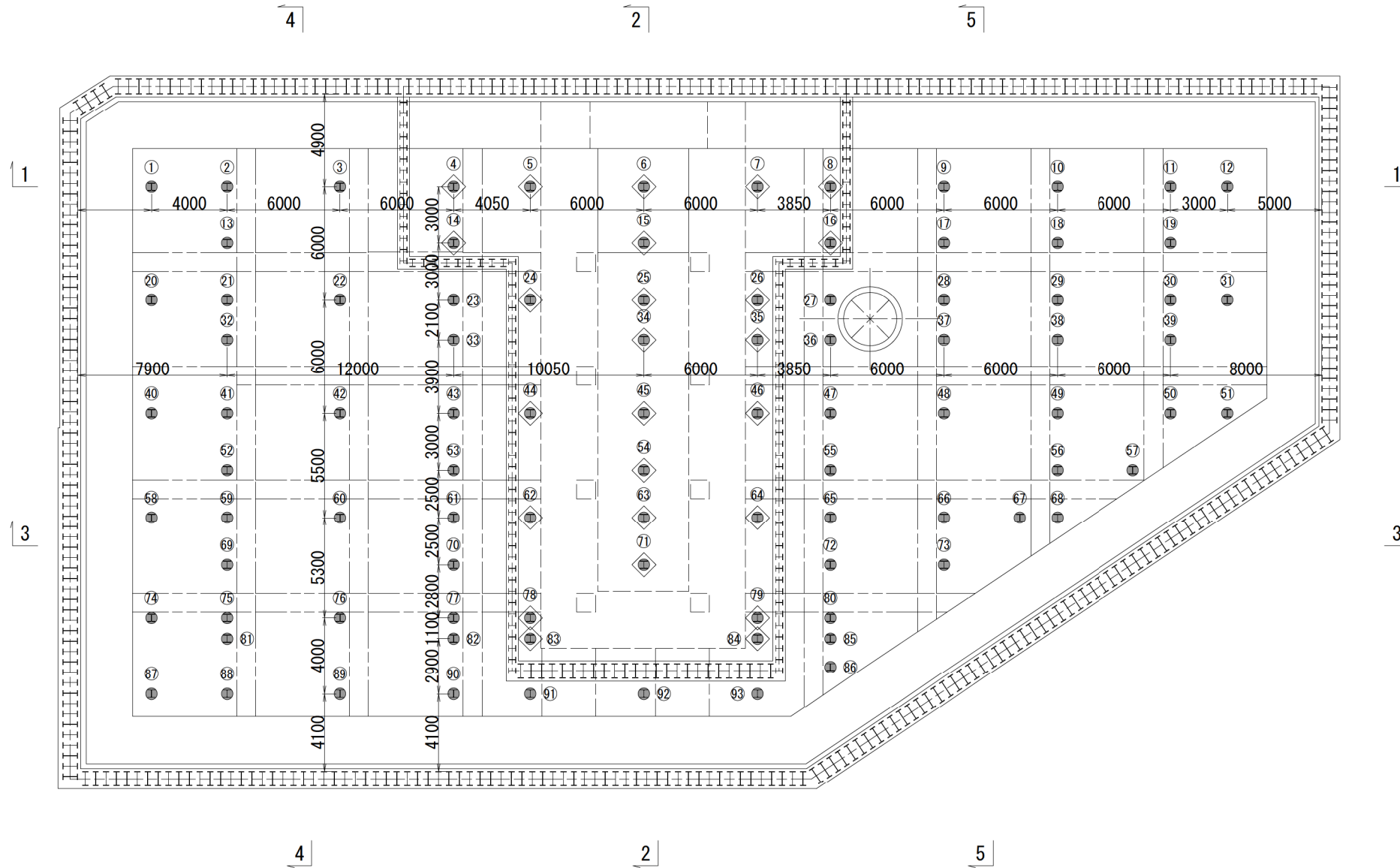
記号	部材	単位質量	削孔径	先端処理	中間杭全長	根入れ長	数量	継手箇所	根固めモルタル量
(1) ①	H-400x400x13x21	172kg/m	φ600mm	モルタル充填	46.60m	11.594m	68	3箇所/本	3.87m <sup>3</sup> /本
(2) ②	H-400x400x13x21		φ600mm	モルタル充填	55.20m	12.094m	25	4箇所/本	4.03m <sup>3</sup> /本

中間杭断面図



記号	測量系 大座標	
	X	Y
1	X=-35994.0437	Y=-22685.3220
2	X=-35990.3394	Y=-22683.8126
3	X=-35984.7829	Y=-22681.5487
4	X=-35979.2265	Y=-22679.2847
5	X=-35975.4759	Y=-22677.7568
6	X=-35969.9194	Y=-22675.4925
7	X=-35964.3629	Y=-22673.2285
8	X=-35960.7975	Y=-22671.7758
9	X=-35955.2410	Y=-22669.5118
10	X=-35949.6846	Y=-22667.2478
11	X=-35944.1281	Y=-22664.9838
12	X=-35941.3499	Y=-22663.8518
13	X=-35931.4714	Y=-22681.0344
14	X=-35980.3585	Y=-22676.5064
15	X=-35971.0514	Y=-22672.7143

記号	測量系 大座標	
	X	Y
16	X=-35961.9295	Y=-22668.9975
17	X=-35956.3730	Y=-22666.7336
18	X=-35950.8166	Y=-22664.4696
19	X=-35945.2601	Y=-22662.2056
20	X=-35936.3077	Y=-22679.7655
21	X=-35932.6034	Y=-22678.2562
22	X=-35987.0469	Y=-22675.9922
23	X=-35981.4905	Y=-22673.7282
24	X=-35977.7398	Y=-22672.2000
25	X=-35972.1834	Y=-22669.9360
26	X=-35966.6269	Y=-22667.6720
27	X=-35963.0615	Y=-22666.2193
28	X=-35957.5050	Y=-22663.9553
29	X=-35951.9486	Y=-22661.6913
30	X=-35946.3921	Y=-22659.4273



記号	測量系 大座標	
	X	Y
31	X=-35943.6139	Y=-22658.2954
32	X=-35993.3958	Y=-22676.3114
33	X=-35982.2829	Y=-22671.7834
34	X=-35972.9758	Y=-22667.9913
35	X=-35967.4193	Y=-22665.7273
36	X=-35963.8539	Y=-22664.2745
37	X=-35958.2974	Y=-22662.0106
38	X=-35952.7410	Y=-22659.7466
39	X=-35947.1845	Y=-22657.4826
40	X=-35998.5717	Y=-22674.2090
41	X=-35994.8674	Y=-22672.6997
42	X=-35989.3109	Y=-22670.4357
43	X=-35983.7545	Y=-22668.1717
44	X=-35980.0038	Y=-22666.6435
45	X=-35974.4474	Y=-22664.3795

記号	測量系 大座標	
	X	Y
46	X=-35968.8909	Y=-22662.1156
47	X=-35965.3255	Y=-22660.6628
48	X=-35959.7690	Y=-22658.3988
49	X=-35954.2126	Y=-22656.1349
50	X=-35948.6561	Y=-22653.8709
51	X=-35945.8778	Y=-22652.7389
52	X=-35995.9994	Y=-22669.9215
53	X=-35984.8864	Y=-22665.3935
54	X=-35975.5794	Y=-22661.6013
55	X=-35966.4575	Y=-22657.8846
56	X=-35955.3445	Y=-22653.3566
57	X=-35951.6402	Y=-22651.8473
58	X=-36000.6470	Y=-22669.1156
59	X=-35996.9427	Y=-22667.6063
60	X=-35991.3862	Y=-22665.3423

記号	測量系 大座標	
	X	Y
61	X=-35985.8298	Y=-22663.0783
62	X=-35982.0792	Y=-22661.5501
63	X=-35976.5227	Y=-22659.2861
64	X=-35970.9662	Y=-22657.0221
65	X=-35967.4008	Y=-22655.5694
66	X=-35961.8443	Y=-22653.3054
67	X=-35958.1400	Y=-22651.7961
68	X=-35956.2879	Y=-22651.0414
69	X=-35997.8860	Y=-22665.2911
70	X=-35986.7731	Y=-22660.7631
71	X=-35977.4660	Y=-22656.9709
72	X=-35968.3441	Y=-22653.2542
73	X=-35962.7877	Y=-22650.9902
74	X=-36002.6469	Y=-22664.2074
75	X=-35998.9426	Y=-22662.6981

記号	測量系 大座標	
	X	Y
76	X=-35993.3861	Y=-22660.4341
77	X=-35987.8296	Y=-22658.1701
78	X=-35984.0790	Y=-22656.6419
79	X=-35972.9661	Y=-22652.1139
80	X=-35969.4007	Y=-22650.6612
81	X=-35999.3576	Y=-22661.6794
82	X=-35988.2447	Y=-22657.1514
83	X=-35984.4941	Y=-22655.6232
84	X=-35973.3811	Y=-22651.0952
85	X=-35969.8157	Y=-22649.6425
86	X=-35970.3818	Y=-22648.2531
87	X=-36004.1562	Y=-22660.5031
88	X=-36000.4519	Y=-22658.9937
89	X=-35994.8954	Y=-22656.7298
90	X=-35989.3390	Y=-22654.4658

記号	測量系 大座標	
	X	Y
91	X=-35985.5883	Y=-22652.9376
92	X=-35980.0319	Y=-22650.6736
93	X=-35974.4754	Y=-22648.4096

凡例  
 中間杭工施工範囲

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

現場制約事項	
○	無

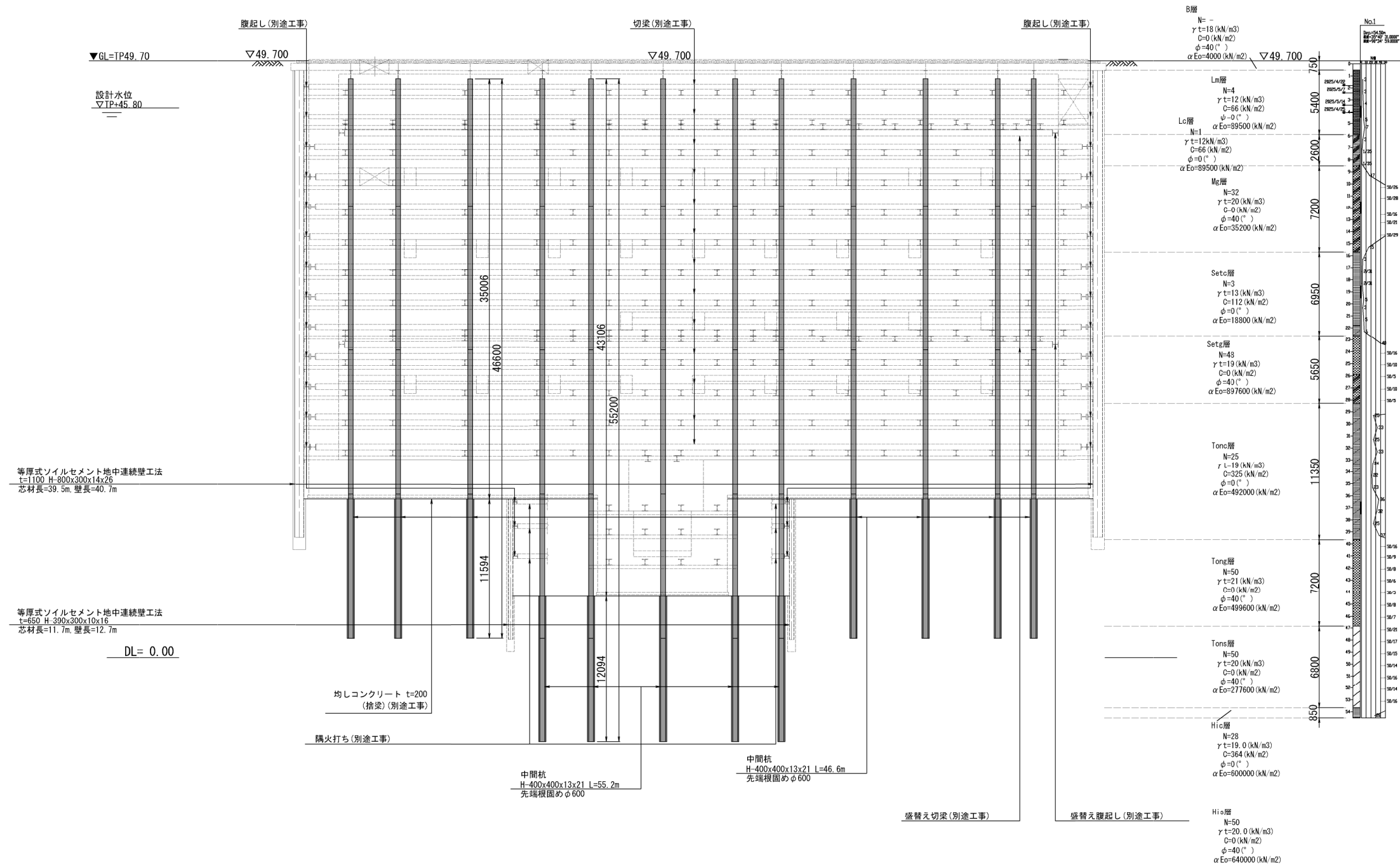
・中間杭(L=46.6m)設計鉛直力 2234.0kN/本  
 ・中間杭(L=55.2m)設計鉛直力 2370.7kN/本  
 ・設計車両 50tラフタークレーン(走行・作業)  
 ・浅層地下水位 TP+45.8m

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で最終的に確認する。  
 ※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	中間杭工平面図		
縮尺	1:150	図面番号	21の12
年月日	令和7年10月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

# 中間杭工断面図(1) S=1:200

## 1-1断面



凡例  
 中間杭工施工範囲

現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間杭 (L=46.6m) 設計鉛直力 2234.0kN/本</li> <li>・中間杭 (L=55.2m) 設計鉛直力 2370.7kN/本</li> <li>・設計車両 50tラフターレーン (走行・作業)</li> <li>・浅層地下水位 <math>\nabla TP+45.8m</math></li> </ul>
有	無

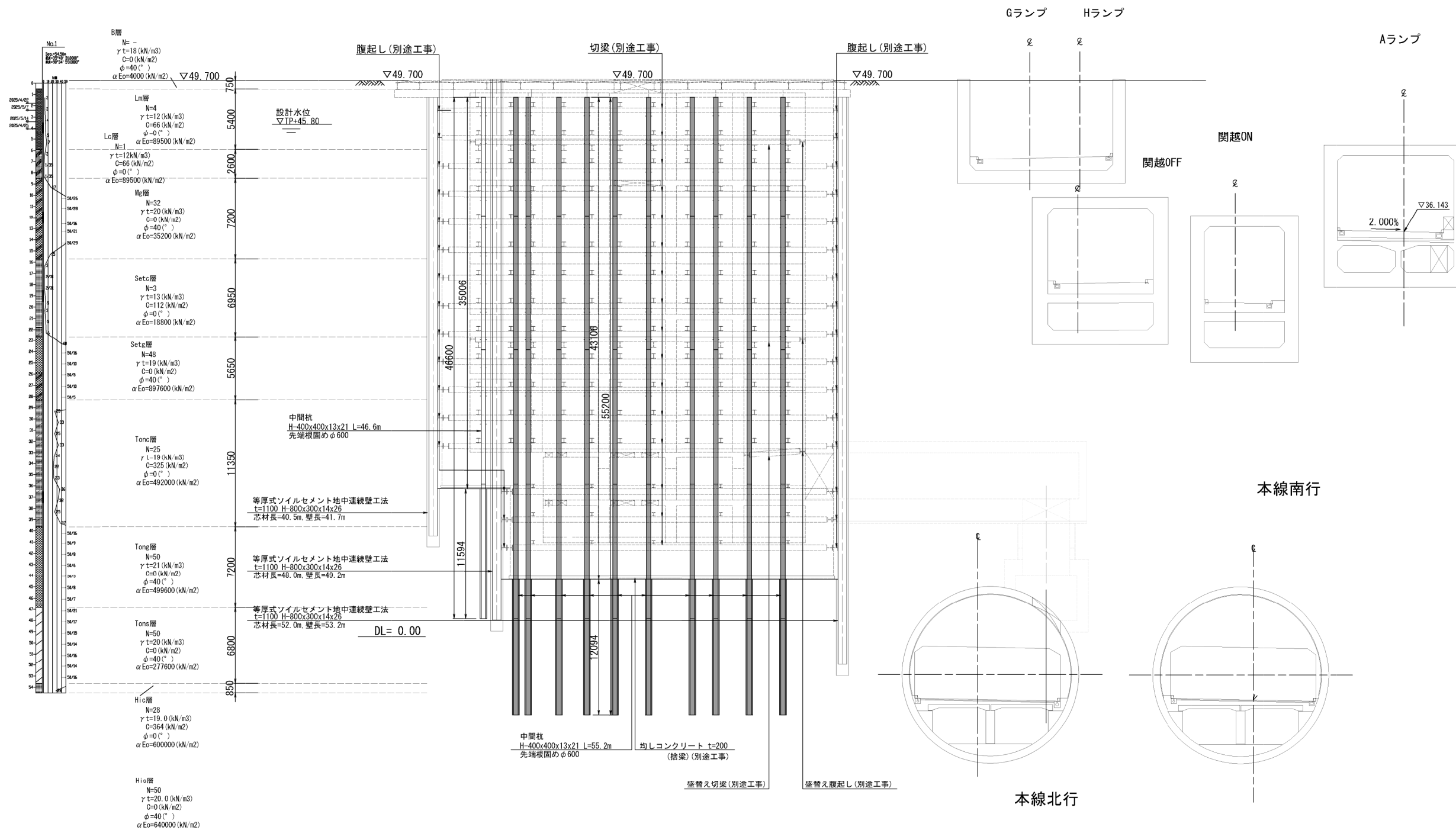
※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で照会・確認する。  
 ※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	中間杭工断面図(1)		
縮尺	1:200	図面番号	21の13
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 中間杭工断面図(2) S=1:200

## 2-2断面



凡例  
 中間杭工施工範囲

現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間杭(L=46.6m)設計鉛直力 2234.0kN/本</li> <li>・中間杭(L=55.2m)設計鉛直力 2370.7kN/本</li> <li>・設計車両 50tラフターレーン(走行・作業)</li> <li>・浅層地下水位 <math>\nabla</math>TP+45.8m</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で確認される。  
 ※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

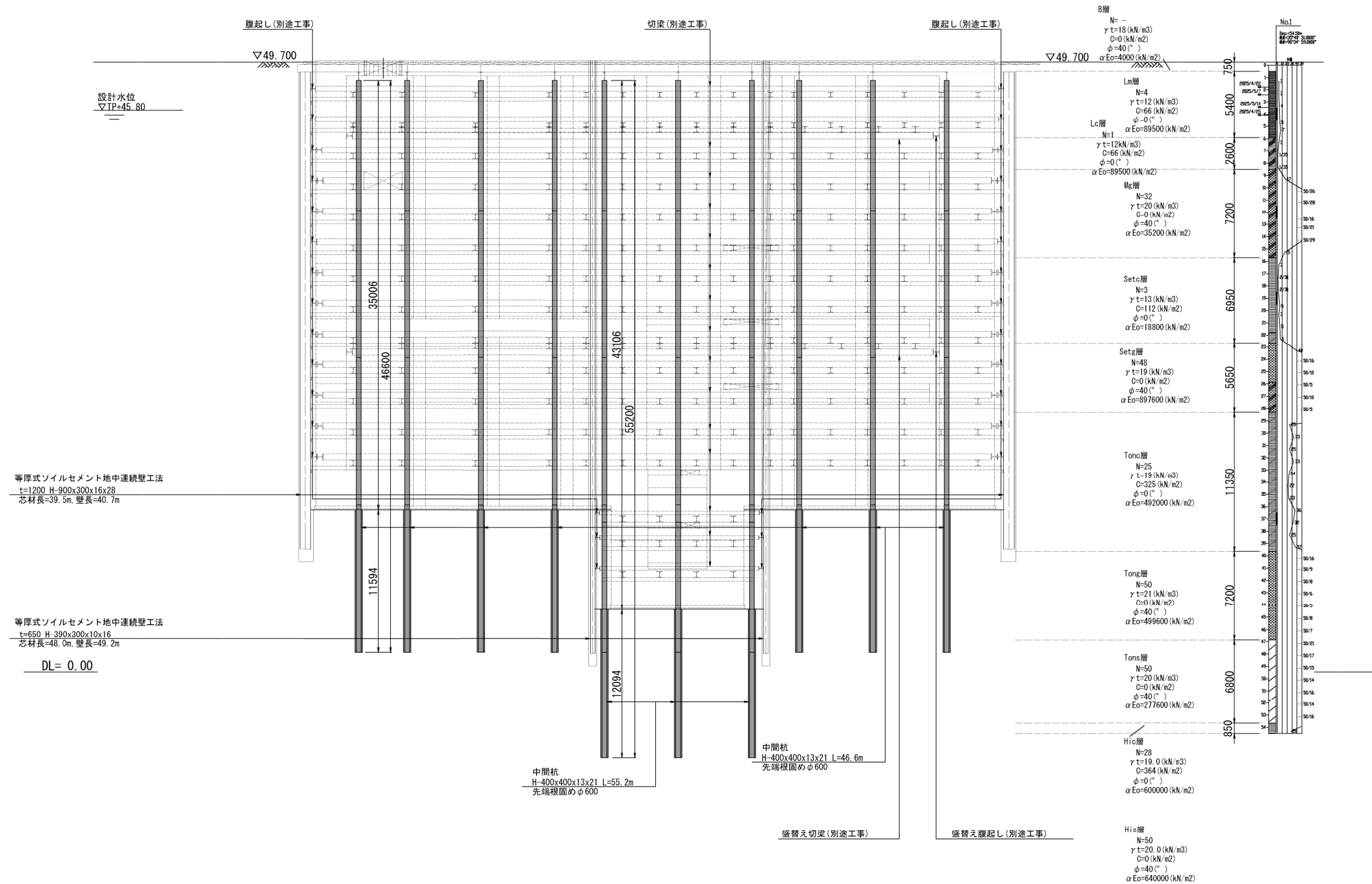
工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	中間杭工断面図(2)		
縮尺	1:200	図面番号	21の14
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 中間杭工断面図(3)

S=1:200

## 3-3 断面



凡例  
■ 中間杭工施工範囲

現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間杭(L=46.6m)設計鉛直力 2234.0kN/本</li> <li>・中間杭(L=55.2m)設計鉛直力 2370.7kN/本</li> <li>・設計車両 50tラフタークレーン(走行・作業)</li> <li>・浅層地下水位 ▽TP+45.8m</li> </ul>
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で照会・確認する。  
※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	中間杭工断面図(3)		
縮尺	1:200	図面番号	21の15
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

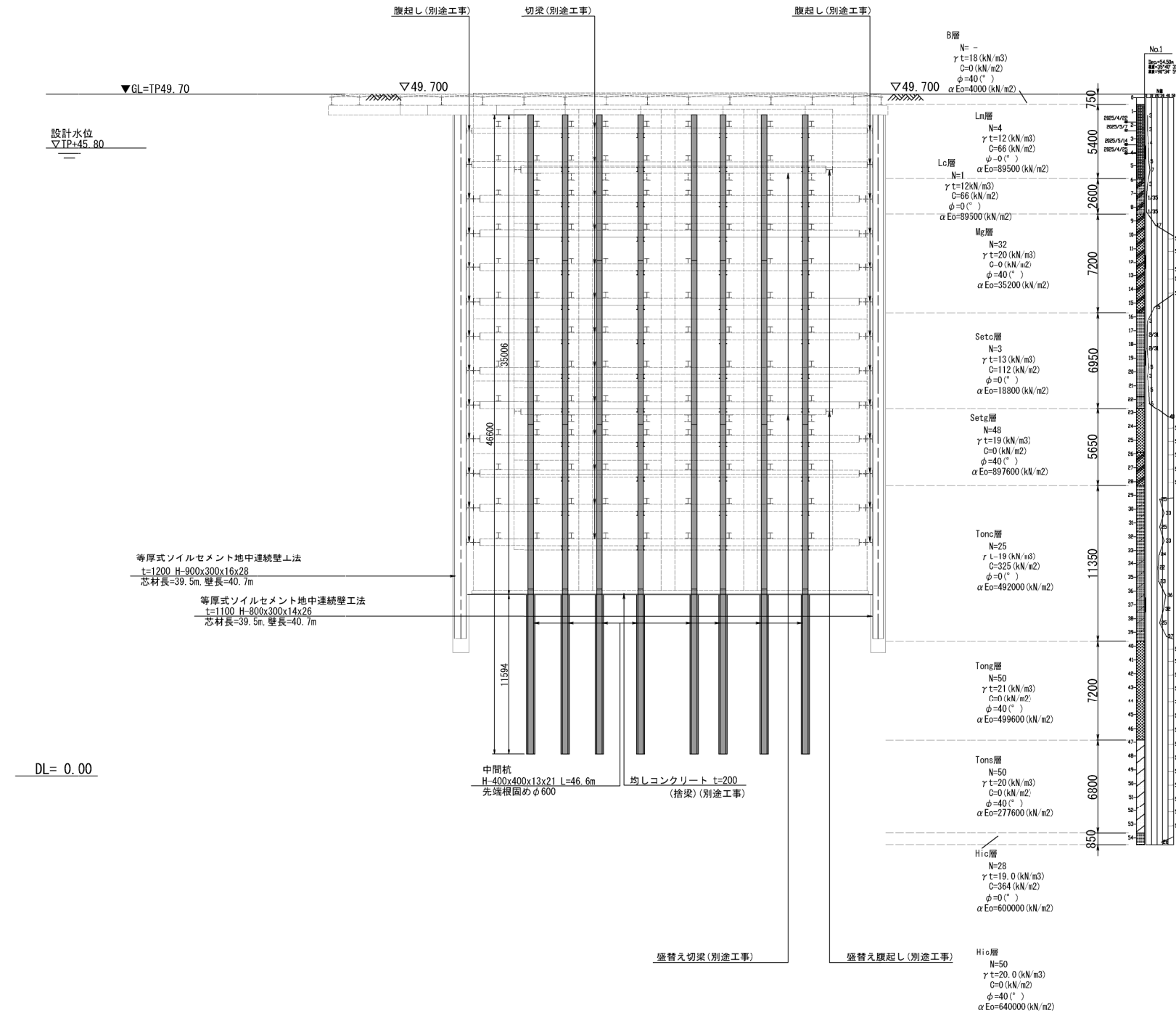
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。



# 中間杭工断面図(5)

S=1:200

## 5-5断面



凡例

■ 中間杭工施工範囲

現場制約事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間杭 (L=46.6m) 設計鉛直力 2234.0kN/本</li> <li>・ 中間杭 (L=55.2m) 設計鉛直力 2370.7kN/本</li> <li>・ 設計車両 50tラフターレーン (走行・作業)</li> <li>・ 浅層地下水位 ▼TP±45.8m</li> </ul>
有	無

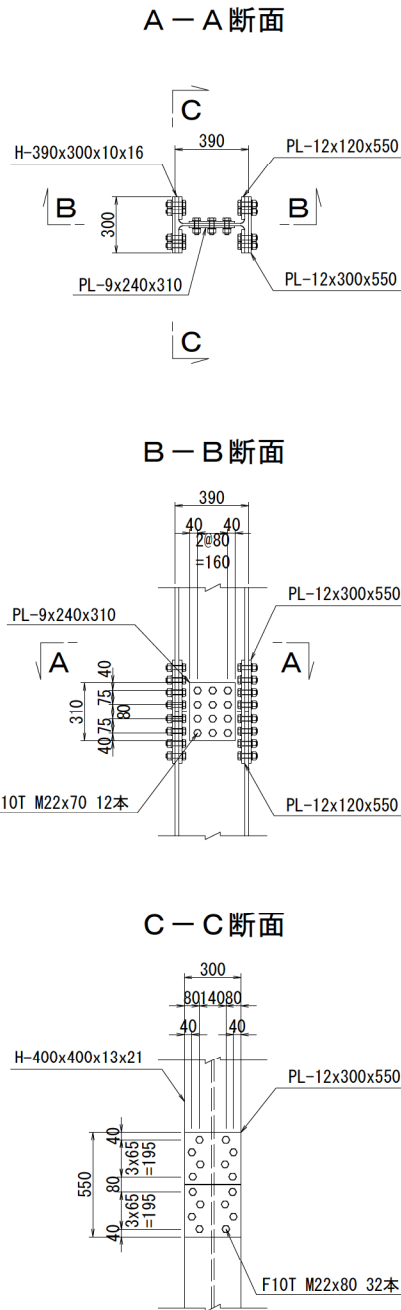
※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事発注にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で厳密に確認する。  
※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	中間杭工断面図(5)		
縮尺	1:200	図面番号	21の17
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

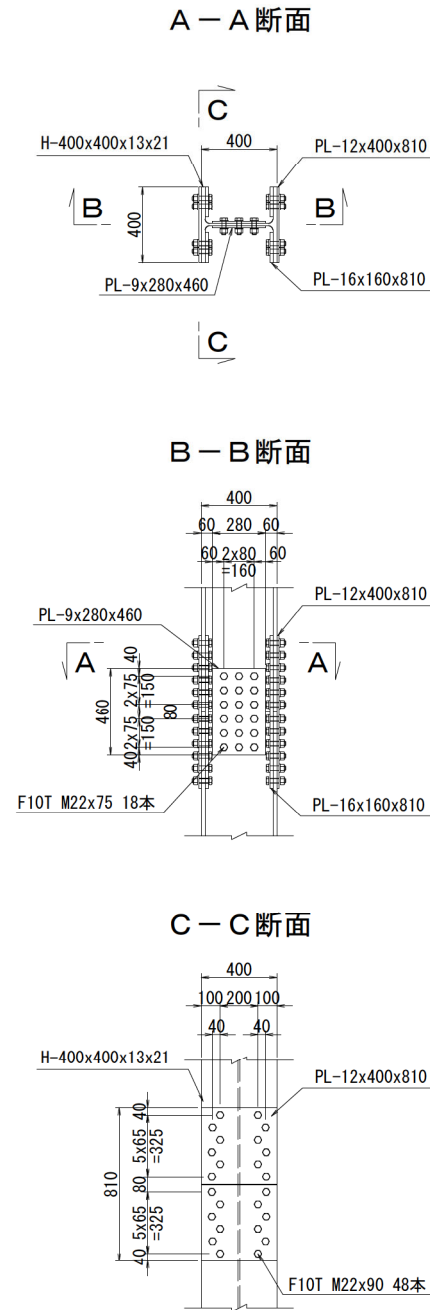
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 継杭詳細図 S=1:20

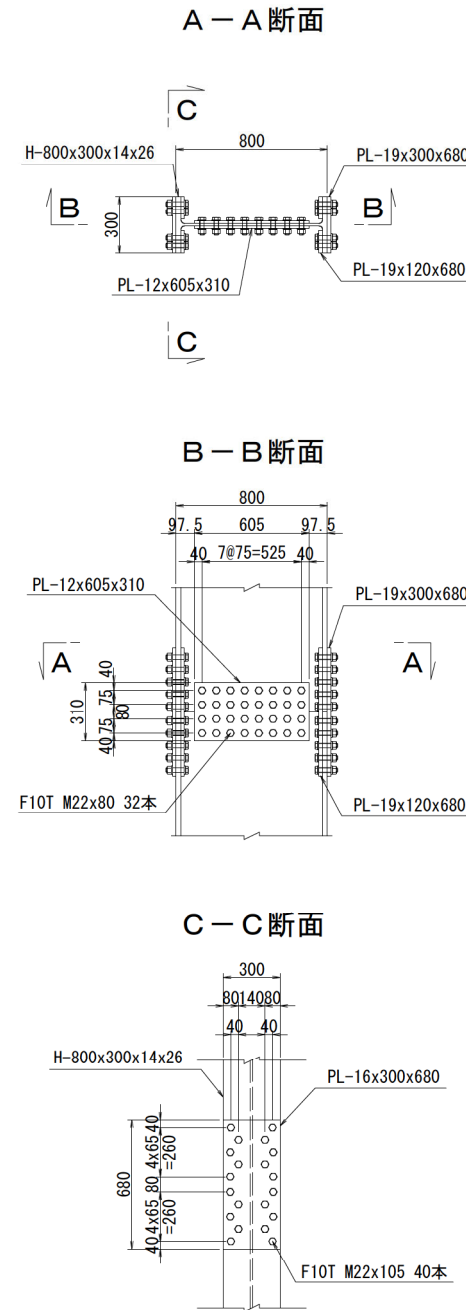
継手詳細図  
(H-390x300x10x16)



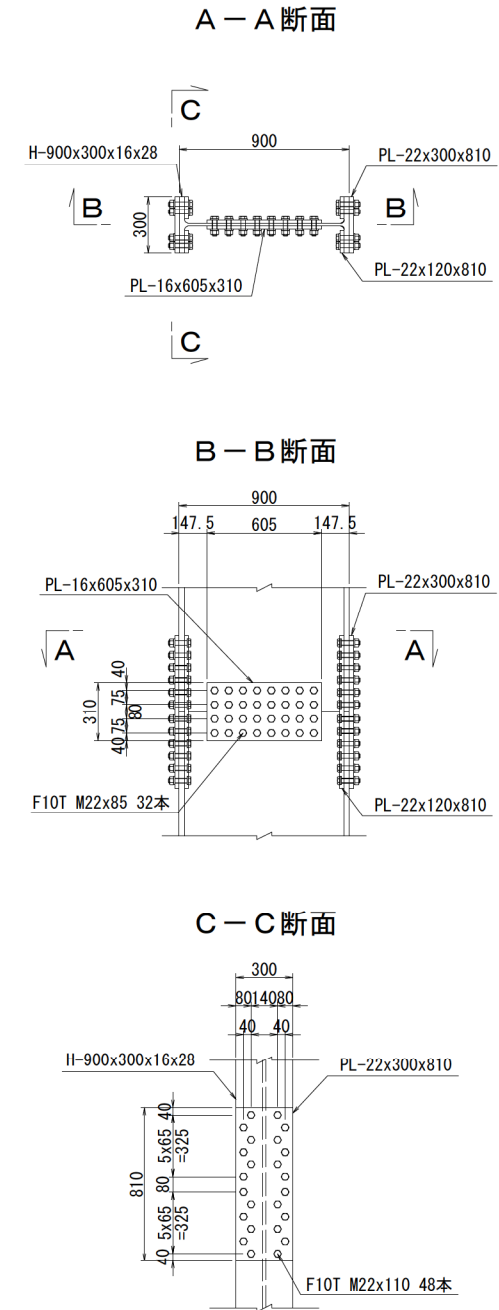
継手詳細図  
(H-400x400x13x21)



継手詳細図  
(H-800x300x14x26)



継手詳細図  
(H-900x300x16x28)



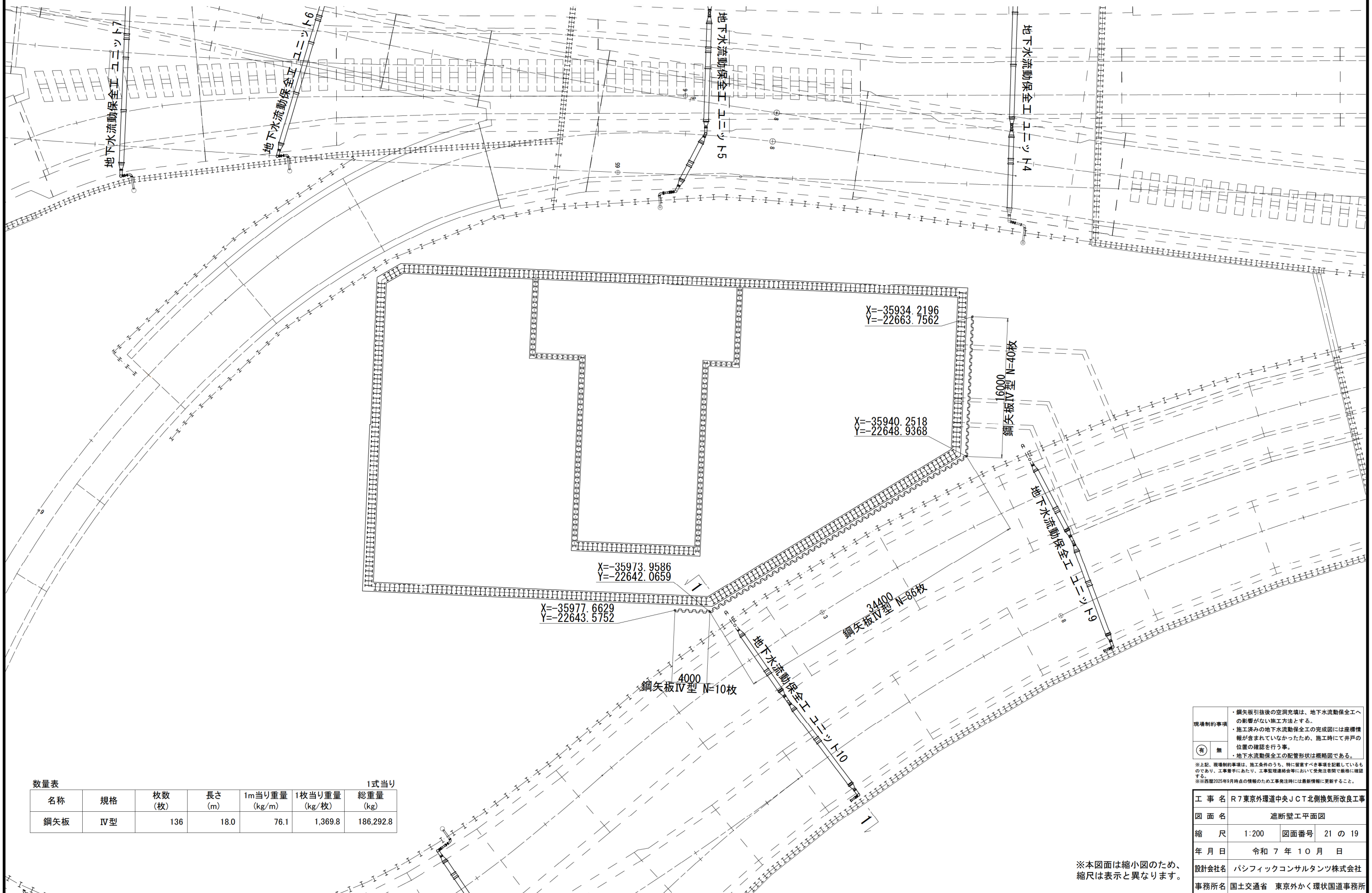
現場制約事項	
有	無

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で厳格に確認する。  
※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	継杭詳細図		
縮尺	1:20	図面番号	21の18
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 遮断壁工平面図 S=1:200



現場制約事項

○ 無

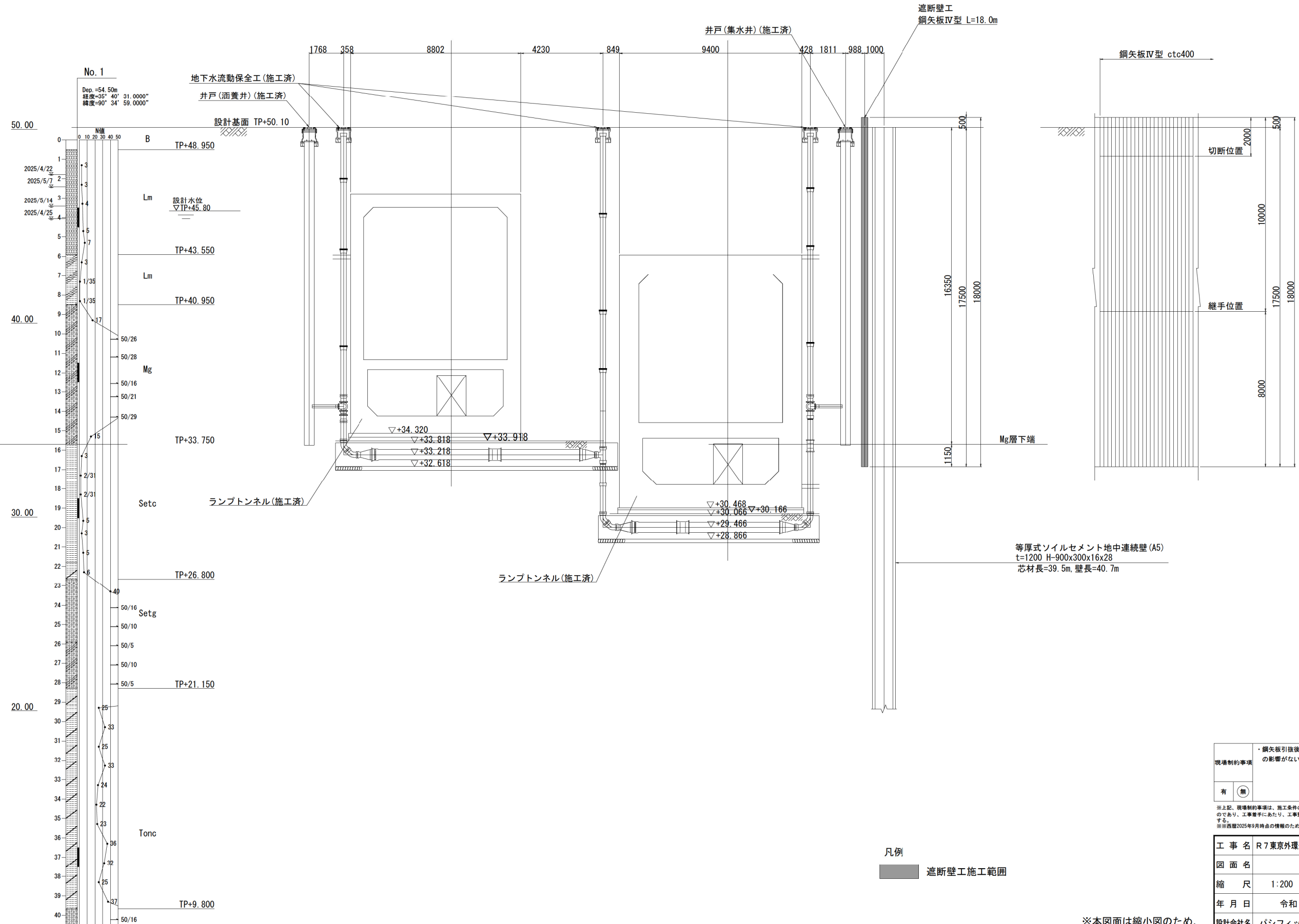
- 鋼矢板引換後の空洞充填は、地下水流動保全工への影響がない施工方法とする。
- 施工済みの地下水流動保全工の完成図には座標情報が含まれていなかったため、施工時に井戸の位置の確認を行う事。
- 地下水流動保全工の配管形状は概略図である。

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において実地調査等で最終確認する。  
※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	遮断壁工平面図		
縮尺	1:200	図面番号	21の19
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

# 遮断壁工断面図 S=1:200



等厚式ソイルセメント地中連続壁 (A5)  
 t=1200 H=900x300x16x28  
 芯材長=39.5m, 壁長=40.7m

凡例  
 遮断壁工施工範囲

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

現場制的事项	鋼矢板引抜後の空洞充填は、地下水流動保全工への影響がない施工方法とする。
有	(無)

※上記、現場制的事项は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において発注者間で厳格に確認する。  
 ※※西暦2025年9月時点の情報のため工事発注時には最新情報に更新すること。

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	遮断壁工断面図		
縮尺	1:200	図面番号	21の20
年月日	令和7年10月日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		

# 数量総括表

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	摘 要
道路改良		式	1	
地盤改良工		式	1	
固結工		式	1	
高圧噴射攪拌(1) 設備ダクト部	改良長L=4.9m	m2	63.6	
高圧噴射攪拌(2) 土留壁背面部	改良長L=2.0m	m2	18	
仮設設備		式	1	
泥水処理工		式	1	
泥水処理	泥水	式	1	
高速道路利用料金		式	1	
高速道路利用料金		式	1	
高速道路利用料金		式	1	
仮設工		式	1	
地中連続壁工		式	1	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(A1)	壁厚1100mm 芯材H-800×300 ソイルセメント長L=53.2m 芯材長L=52.0m	m	25	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(A2)	壁厚1100mm 芯材H-800×300 ソイルセメント長L=49.2m 芯材長L=48.0m	m	14	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(A3)	壁厚1100mm 芯材H-800×300 ソイルセメント長L=41.7m 芯材長L=40.5m	m	17	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(A4)	壁厚1100mm 芯材H-800×300 ソイルセメント長L=40.7m 芯材長L=39.5m	m	100	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(A5)	壁厚1200mm 芯材H-900×300 ソイルセメント長L=40.7m 芯材長L=39.5m	m	52	
等厚式ソイルセメント地中連続壁(B)	壁厚650mm 芯材H-390×300 ソイルセメント長L=49.2m 芯材長L=48.0m	m	70	
仮設設備		式	1	
泥水処理工		式	1	
泥水処理	泥土	式	1	
中間杭工		式	1	
中間杭(1)	杭材H-400×400 削孔径φ600 杭長L=46.6m	本	68	
中間杭(2)	杭材H-400×400 削孔径φ600 杭長L=55.2m	本	25	
遮断壁工		式	1	
鋼矢板	IV型 平均鋼矢板長さ18m 鋼矢板打込長17.5m 平均鋼矢板引抜長16m	枚	136	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員		式	1	

工事名	R7東京外環道中央JCT北側換気所改良工事		
図面名	数量総括表		
縮尺	-	図面番号	21の21
年月日	令和7年10月 日		
設計会社名	-		
事務所名	国土交通省 東京外かく環状国道事務所		